



CONTROLLER ONE

取扱説明書

P.1~

OWNER'S MANUAL

P.22~

ベスタクス株式会社
〒154-0023
東京都世田谷区若林1-18-6
電話:03-3412-7011
ファックス:03-3412-7013
Web:www.vestax.jp

Vestax Corporation
Address:World Headquarters 1-18-6
Wakabayashi Setagaya-Ku
Tokyo Japan 154-0023
Telephone:+81.03.3412.7011
Fax:+81.03.3412.7013

Vestax Europe Ltd.
Address:Unit5 Riverway Industrial
ParkAlton Hampshire GU34
2QL England
Telephone:+44.(0)1420.83000
Fax:+44.(0)1420.83040

ごあいさつ

この度はベスタクスController-Oneをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本機の性能を最大限に発揮するためにも、この取扱説明書をよくお読み下さるようお願いいたします。

目次

ご使用上のご注意	2
安全上のご注意	3
本機の特長	4
お使いになる前に	4
組み立て方	5
接続と設置	7
トーンアームの調整の仕方	7
各部の名称	9
各部の機能	10
NOTEモードについて	12
PITCHモードについて	13
MEMORY PITCHモードについて	14
各種設定	17
故障かな?と思ったら	20
主な仕様	21
保証とアフターサービス	21

ご使用上の注意

1. 針先やレコードに付着したほこりやごみは、よく取り除いてください。

針先にほこりやごみが付いたまま演奏しますと、針先がレコード盤の音溝に正確に接触することができません。また、音質が悪化するだけでなく、レコード盤や針先の損耗が早まる恐れがありますので、お手入れはトーンアームからシェルごと取りはずし、柔らかい穂先のはけか毛筆などで根元から針先に向かって、丁寧に取り除いてください。レコード盤も良質のレコードクリーナーでよくふいてください。

2. シェル端子は時々ふいてください。

シェルをトーンアームからはずしておきますとシェル端子にほこりやごみがつき、接触不良を起こして雑音やハムを発生させる原因となります。また、音が出なくなる場合もありますので、柔らかい布などでシェル端子をふいてからシェルを取り付けてください。

3. シェルを着脱する場合、アンプのボリュームを"0"にするか、アンプの電源を"OFF"にしてから行ってください。

ボリュームをあげた状態でシェルの着脱を行いますと不愉快な音がするだけでなく、スピーカーをいためる恐れがあります。また、シェルを着脱する場合は針先保護のために針カバーをしてから行ってください。

4. ハウリングとハムについて

ハウリングは、スピーカーからの音や振動がプレーヤーに伝わり、それを再びカートリッジが拾い上げることによって生ずるものです。ボリュームを上げて、ウォーンというハウリングが発生するときは、スピーカーと本体との位置関係をチェックし、音や振動が本機に伝わらないように対策してください。ハムノイズは、他の電器製品から出る電磁波によるものです。本機周辺の電器製品では特にアンプとの位置関係をチェックしてください。

5. 転宅などで、遠くへ運ばれるとき。

購入時の包装材を用いて開梱のときと逆の方法で包装してください。包装材がないときでも、次のことは必ず行ってください。

- スリッパマットとターンテーブルを抜き取って、傷のつかないように包装します。
- アームをアームレストに戻し、更にテープで結んで動かないようにしてください。
- バランスウェイトやシェル/カートリッジはアームから取りはずし、傷のつかないように包装してください。
- 本体は毛布や柔らかい紙等で傷のつかないように包装してください。

6. 電源について

- 雑音を発生する装置(モーター、調光器など)や消費電力の大きい機器とは、異なるコンセントを使用して下さい。
- 接続する際は、誤動作、スピーカーなどの破損を防ぐため、必ず全ての機器の電源を切ってから行って下さい。

7. 設置について

- この機器の近くにパワーアンプなどの大型のトランスを持つ機器があると、ハム(うなり)を誘導することがあります。この場合は、本機との間隔や方向を変えて下さい。
- テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色むらが発生したり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用して下さい。

8. お手入れについて

- 通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れを拭き取って下さい。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きして下さい。
- 変色や変形の原因となるベンジン、シンナー及びアルコール類は、使用しないで下さい。
- 故障の原因となりますので、市販の接点復活剤・潤滑スプレーの中でも、シリコンオイル製のスプレーは使用しないで下さい。

9. 修理について

- お客様が本機を分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合がございます。
- 当社では、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、6年間保有します。この部品保有期間を修理可能の期限とさせていただきます。なお、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げのお店または、当社商品の取扱店にご相談下さい。
- 本機の保証期間は1年ですが、クロスフェーダーやインプットフェーダーなどは、耐久性を超えた使い方(過度なスクラッチプレイでご使用になった場合等)をされると、通常のパーツの耐久期間(1年以上)が、1ヶ月に短縮されてしまうことがあります。その場合、保証内で修理に出されても、消耗部品という判断により、パーツ交換代として実費を請求させていただくことがあります。

10. その他の注意について

- スイッチ、ツマミ、入出力端子等に過度の力を加えると、故障の原因となりますのでご注意ください。
- ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐ為に、プラグ自体(頭の部分)を持って行うようにして下さい。
- 音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がからないように、特に夜間は音量に十分注意して下さい。

安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしていますので「安全上のご注意」の内容をよくご理解下さいようお願い致します。



警告

この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



電源プラグをコンセントから抜く

- 記号は行為を強制したり表示する内容を告げるものです。図の中に具体的な表示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。



分解禁止

- 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



指を挟まれないよう注意

- △ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容(左図の場合は指をはさまれないよう注意)が描かれています。

警告



電源プラグを
コンセントから抜く

- 万一、煙が出ている、変なおいや音がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



水槽での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

注意



電源プラグを
コンセントから抜く

- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



- オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる際には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力傷害などの原因となることがあります。
- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にはほりのためたまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談してください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



- 調理台や加湿器のそばなど湯煙が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

本機の特長

- シングルノートレコード(単音が録音されたレコード)を使い、ターンテーブルの回転スピードを音階に応じた変化をさせることで、メロディをつけた演奏をすることができます。
- ギターやピアノ等、他楽器とのセッションで演奏の際、キーの微調整をすることができます。
- ターンテーブルの回転スピードを記憶するメモリーピッチ機能を搭載し、パフォーマンスプレイやオリジナル音階の作製など、さまざまな用途に対応します。
- 外部シーケンサー、キーボード等からのMIDI NOTE信号に同期させてターンテーブルの回転スピードを切替えることができます。
- 音階を奏でるために、KEYボタン、PITCH BEND、UPボタン、DOWNボタン等の機能を装備しました。
- プレイヤーの演奏スタイルの応じてPITCHモードとNOTEモードの2種類の演奏方法を選択することができます。
- 1オクターブに対応した8個のKEYボタン、半音の上げ下げを行うPITCH BEND、1オクターブを瞬時に上げ下げを行うUP、DOWNボタンを装備、これより、多様な演奏パフォーマンスを可能にします。

お使いになる前に

部品、付属品の確認

【本機は一部の部品を取り外して包装しております。部品が揃っているか確認してください。】

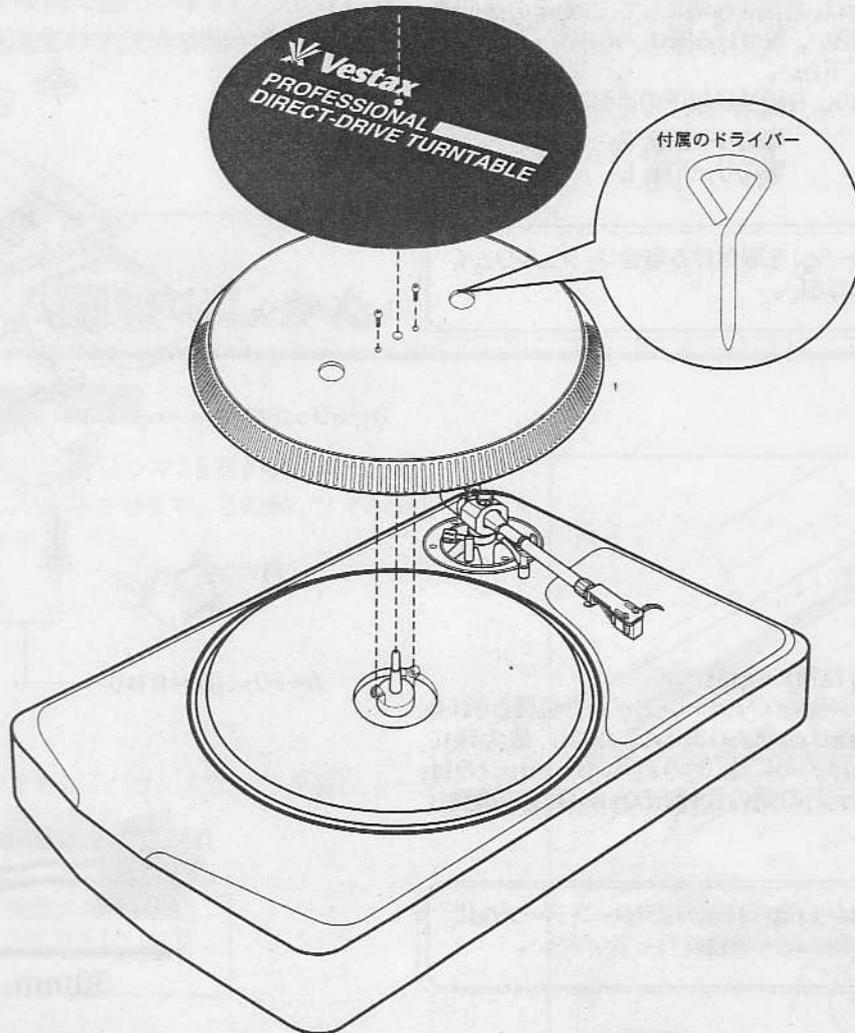
- ・本 体
- ・プラッター
- ・スリップマット
- ・保証書(箱に貼付されております。)
- ・ヘッドシェル
- ・バランスウェイト
- ・シェルウェイト
- ・EPアダプター
- ・プラッター固定ネジ
- ・プラッター固定ネジ取付用ドライバー
- ・取扱説明書
- ・ユーザー登録カード
- ・GNDケーブル
- ・RCAケーブル

組み立て方

- ①本体のネジ穴の位置を確認しながら、プラッターをセンタースピンドルにはめます。
- ②プラッターと本体をドライバー（付属品）を使ってネジを締めます。
- ③スリップマットをのせます。（印刷面を上にしませ）

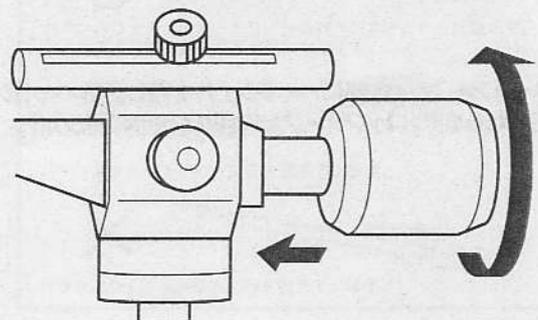
注意

- ・ネジ締めを行わずに、本機を使用すると、プラッターが正常に回転しない恐れがあります。
- ・組み立て調整がすべて完了するまでは、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- ・プラッターを取付ける場合、本体に強く当てないようにご注意ください。



バランスウェイトの取り付け

バランスウェイトをトーンアーム後方から差し込み、正面から見て左回り矢印の方向に廻します。



スリッパットの使い方

プラッターの上に印刷面を上にしたスリッパットをのせ、その上にレコード盤をのせます。スリッパットを使用することで、プラッターの回転中に手でレコード盤を止めたり、逆転させたりすることができます。

また、別売りのスリッパシートを追加すると、より効果があがります。



表面:レコード装着面
(印刷面)

裏面:スリッパ面

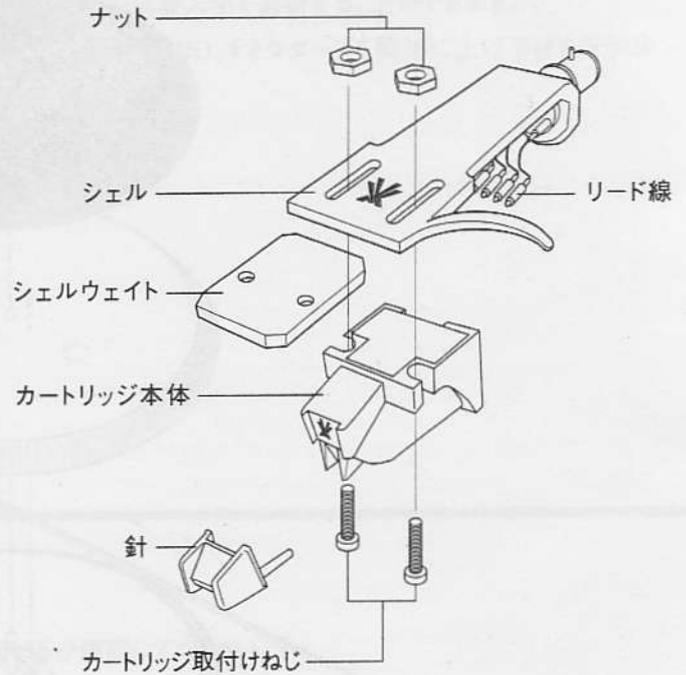
カートリッジの取り付け

- ①カートリッジの取り付けは、右図を参考にして、ご使用の説明書に従って取付けてください。取付ける際は、ヘッドシェルの先端と平行にして取付けて下さい。
- ②カートリッジのリード線のL、R極性は以下になっています。

赤のリード線 R+	緑のリード線 R-
白のリード線 L+	青のリード線 L-

注意

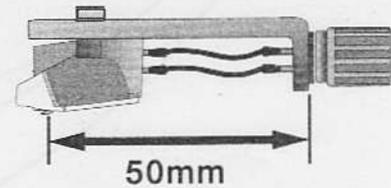
・軽いカートリッジ(4g~5g)を取付ける場合は、シェルウェイト(付属品)をご使用ください。



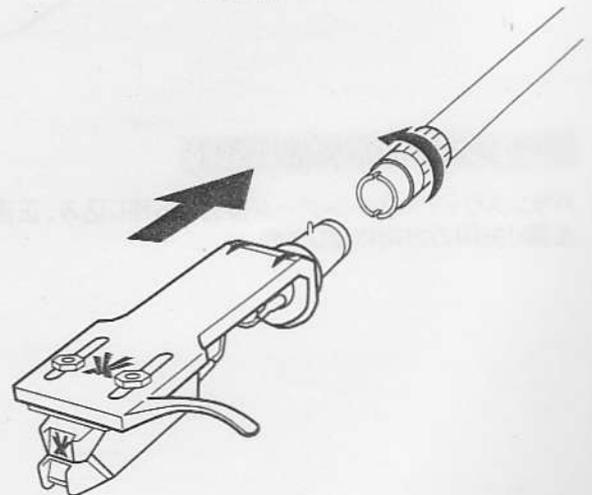
- ③カートリッジの取り付け位置の調整します。
A.S.T.Sでは、一般のS字タイプのトーンアームで必要とされるオーバーハングの調整は必要ありません。ただし、最大限にA.S.T.S性能を引き出すためには、下のようにカートリッジの針先とヘッドシェルの根元との間の距離を50mm程度に調整して下さい。

注意

カートリッジを前後に動かす際、針先が指やターンテーブルに触れて破損することのないよう、慎重に行ってください。



- ④トーンアームの前部にヘッドシェルを差し込みヘッドシェルが固定されるまで、ロックリングを矢印の方向に回します。



接続と設置

プレーヤーの設置

- ・ 外部振動を受けない、しっかりした水平な場所に設置してください。
- ・ スピーカーシステムからできるだけ離して設置してください。
- ・ 直射日光、ほこり、湿気などの多い場所や、暖房器具の近くは避けてください。
- ・ 通風の良い場所を選んでください。
- ・ ラジオ (FM/AM) を極端に近づけますと、ラジオに雑音が入る場合がありますので、できるだけ本機より離してください。

電源プラグの接続

- ・ 電源プラグをコンセントに接続します。

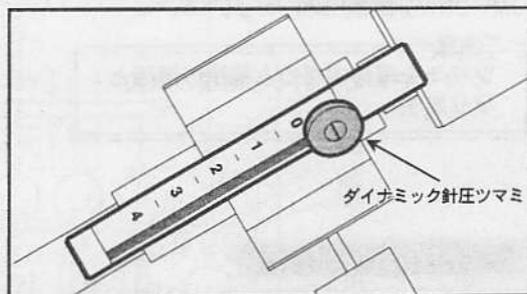
ご注意

本機は交流(AC)電圧100V 50/60Hz
でご使用いただくようになっています。
100Vを超える電圧や直流(DC)電圧
電源には絶対接続しないでください。

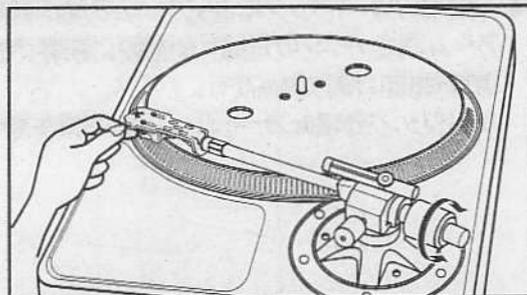
トーンアーム調整のしかた

水平(ゼロ)バランス調整

- ① トーンアームのダイナミック針圧ツマミを緩め(反時計回り)、目盛"0"の位置にスライドさせます。この時、ツマミは緩めたままにしておきます。



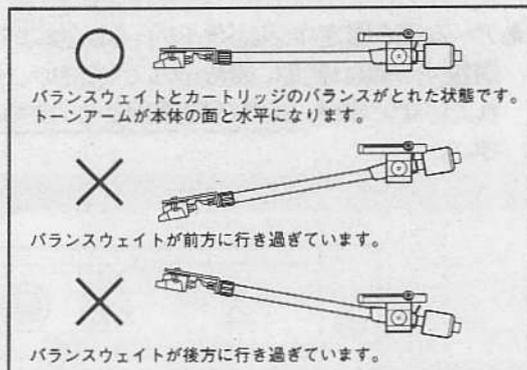
- ② アームレストのロックを外してバランスウェイトを廻し、トーンアームを水平になる様に調整します。



ご注意

調整をする際、針先がプラッターや本体に触れないように気を付けて下さい。

- ③ 右図の調整例を参考に調整して下さい。水平バランス調整後、トーンアームをアームレストへ戻します。

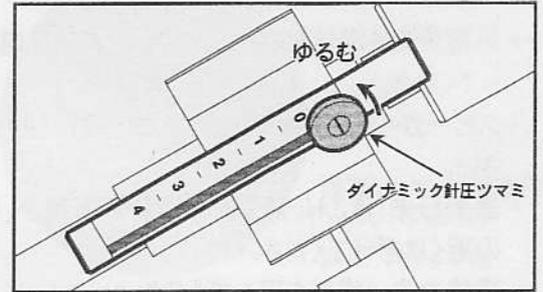


針圧調整

- ④ 水平(ゼロ)バランス調整が出来たら針圧調整を行いません。
ダイナミック針圧ツマミをスライドさせて調整します。

ご注意

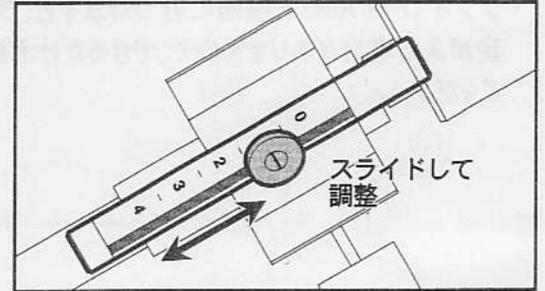
針圧調整を行なっている際にウェイトが動いてしまった場合、再び水平バランス調整からやり直して下さい。



- ⑤ ご使用のカートリッジ指定の針圧値までダイナミック針圧ツマミをスライドさせます。(カートリッジの説明書を参考に設定して下さい。)

ご注意

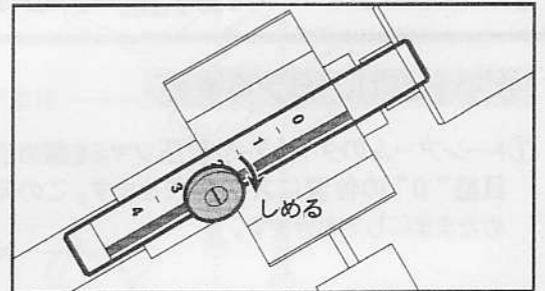
スクラッチプレイを行なう際、針圧を加えすぎると針飛びや針先の寿命を短くする原因となります。



- ⑥ 針圧値の所までスライドさせたら、ダイナミック針圧ツマミを締めて(時計回り)、固定します。
尚、最大針圧は5gです。
これで針圧調整は完了となります。

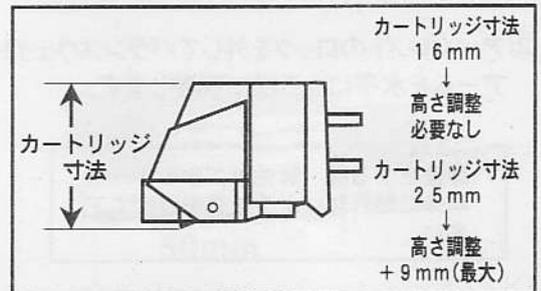
ご注意

ツマミを締めすぎると破損の原因となります。

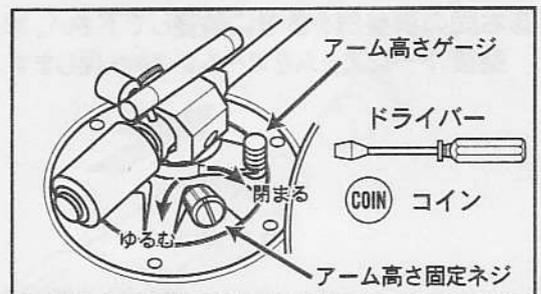


アームの高さ調整

- ご使用のカートリッジによりアームの高さ調整が必要です。
アーム高さゲージの目盛りを目安に調整できます。
調整範囲は最大9mmです。
カートリッジ寸法は、カートリッジの説明書を参考にして下さい。



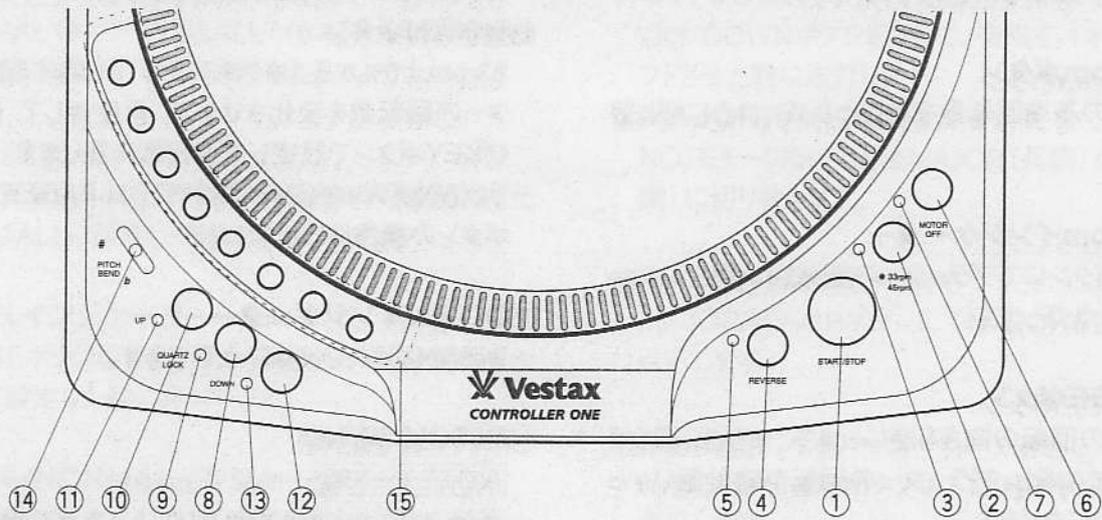
- アーム高さ固定ネジはドライバーもしくはコインで廻せます。
調整する際は確実に締め込んでください。十分に締め込まれていない場合、針飛びの原因となりますのでご注意ください。



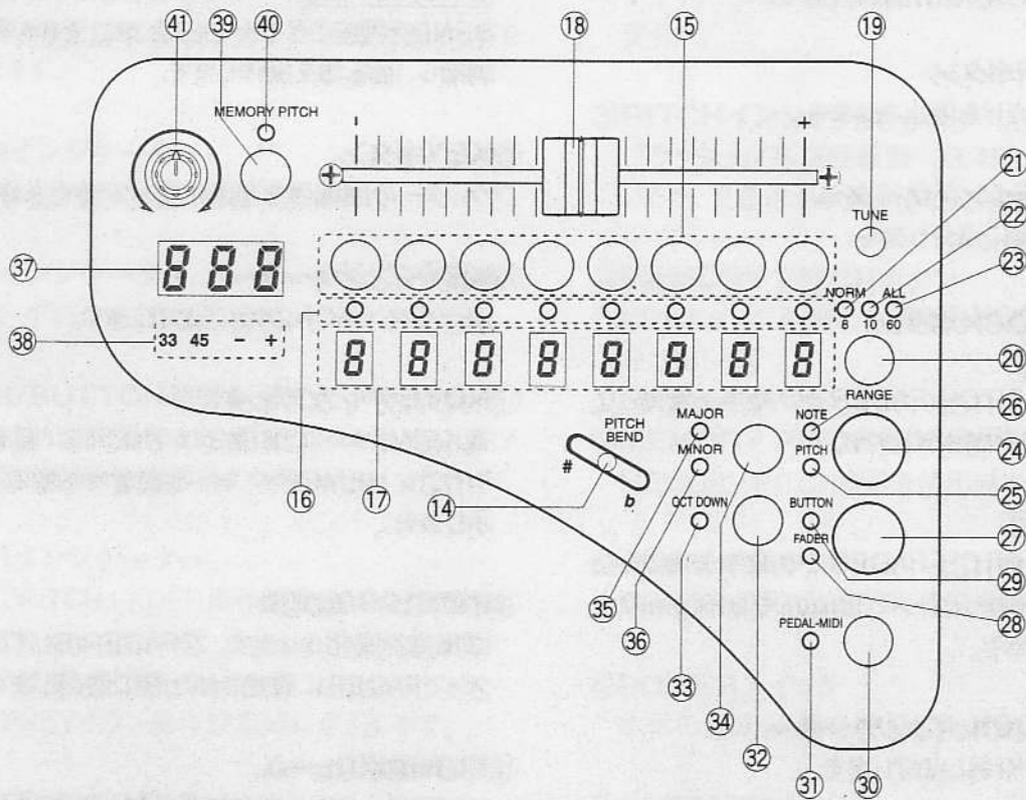
各部の名称

鍵盤の構造

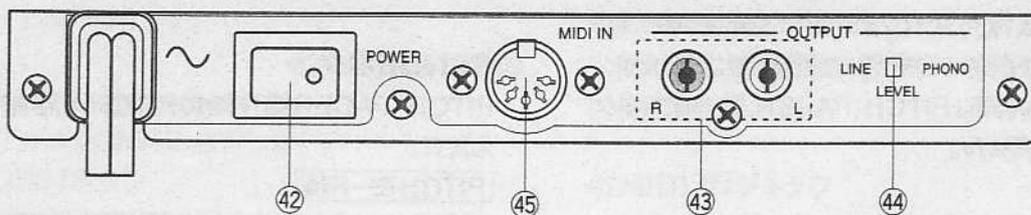
トップ部



コントロールパネル部



リアパネル部



各部の機能

- ① **START/STOPボタン**
プラッターの回転をON/OFFします。
- ② **33/45rpmボタン**
プラッターの基準回転数を33rpmと45rpmとに切り替えます。
- ③ **33/45rpmインジケータ**
3/45rpmボタンにてプラッターの基準回転数を33rpmにした時に点灯します。
- ④ **REVERSEボタン**
プラッターの回転の向きを逆にします。REVERSEボタンをONにすると、プラッターの回転が時計回りから反時計回りになります。
- ⑤ **REVERSEインジケータ**
REVERSEボタンON時に点灯します。
- ⑥ **MOTOR OFFボタン**
モーターの回転だけを停止させます。
- ⑦ **MOTOR OFFインジケータ**
MOTOR OFF時に点灯します。
- ⑧ **QUARTZ LOCKボタン**
NOTEモード時
KEYボタン及びPITCH FADERでの操作が無効となり、33rpm±0%で固定されます。
PITCHモード時
KEYボタン及びPITCH FADERでの操作が無効となり、33/45rpmボタンによって33rpm又は45rpmの±0%に固定されます。
- ⑨ **QUARTZ LOCKインジケータ**
QUARTZ LOCK時に点灯します。
- ⑩ **UPボタン**
33rpm±0%から+1オクターブ分 (PITCH+100%) プラッターの回転数を変化させます。再度押して、PITCH及びKEYボタンで設定した回転数に戻ります。UPボタンがONの間はPITCH FADER及びKEYボタンの操作はできません。
- ⑪ **UPインジケータ**
DOWNボタンON時に点灯します。
- ⑫ **DOWNボタン**
33rpm±0%から-1オクターブ分 (PITCH-50%) プラッターの回転数を変化させます。再度押して、PITCH及びKEYボタンで設定した回転数に戻ります。DOWNボタンがONの間はPITCH FADER及びKEYボタンの操作はできません。
- ⑬ **DOWNインジケータ**
DOWNボタンON時に点灯します。
- ⑭ **PITCH BEND**
NOTEモード時
半音上げ(♯)から半音下げ(♭)までの幅の回転数を操作します。
PITCHモード時
BENDを押すことで±1%、±3%、±6%の可変幅に調節し、回転数を操作します。
- ⑮ **KEYボタン**
プラッターの回転数を音階に応じて変化させます。
- ⑯ **KEYインジケータ**
KEYボタンがONの時に点灯します。
- ⑰ **NOTEディスプレイ**
各KEYボタンに配置されるNOTE (回転数) 及びPITCH MEMORY、キーを設定する際の各項目を表示します。
- ⑱ **PITCH FADER**
回転数を変化させます。⑳ FADER/BUTTON切替ボタンでFADERに設定された際に使用します。
- ⑲ **TUNEボリューム**
NOTEモードにおけるKEYボタン操作時、キーの微調整を行います。調整幅は半音上がり(♯)～半音下がり(♭)の範囲です。
- ⑳ **RANGEボタン**
PITCH FADER操作時のPITCH可変範囲を切り替えます。
PITCHモード時
±60%、±10%、±8%の可変範囲に変更できます(初

期設定:±10%)。

NOTEモード時

NORMAL (8ステップ)とALL (16ステップ)の可変範囲を変更できます(初期設定:ALL)。

②1 ±8%/ALLインジケータ

RANGEボタンにてPITCH FADERの可変範囲を±8%又はALLに設定した時に点灯します。

②2 ±10%インジケータ

RANGEボタンにてPITCH FADERの可変範囲を±10%に設定した時に点灯します。

②3 ±60%/NORMALインジケータ

RANGEボタンにてPITCH FADERの可変範囲を±60%又はNORMALに設定した時に点灯します。

②4 PITCH/NOTE切替ボタン

PITCHモード又はNOTEモードに回転数可変モードを切り替えます。

②5 PITCHインジケータ

PITCHモード時に点灯します。

②6 NOTEインジケータ

NOTEモード時に点灯します。

②7 FADER/BUTTON切替ボタン

PITCH FADER操作またはKEYボタン(MEMORY PITCH PLAY)操作を切り替えます。

②8 FADERインジケータ

各モードでPITCH FADER操作設定時に点灯します。

②9 BUTTONインジケータ

各モードでKEYボタン操作設定時に点灯します。

③0 REMOTE ON/OFFスイッチ

外部MIDIコントローラーを接続している際このスイッチをONにすると、本機のプлатター回転数をMIDIコントローラーで操作できます。

③1 REMOTEインジケータ

REMOTEボタンON時に点灯します。

③2 Oct DOWNボタン

KEYボタン8個の音階を-1オクターブ分シフトします。

③3 Oct DOWNインジケータ

Oct DOWNボタンを押して、音階を-1オクターブ分シフトさせた時に点灯します。

③4 MAJOR/MINOR切替ボタン

NOTEモード時の音階をMAJOR(長調)かMINOR(短調)に切り替えます。

③5 MAJORインジケータ

MAJOR/MINORボタンにてMAJORを選択した時に点灯します。

③6 MINORインジケータ

MAJOR/MINORボタンにてMINORを選択した時に点灯します。

③7 PITCHディスプレイ

プлатターの回転数の変化を%表示します(ピッチの変化)。

③8 PITCHインジケータ

プлатターが基準回転数(33.45rpm)に設定されているか、又基準から⊕⊖になっているか表示します。

③9 MEMORY PITCHボタン

KEYボタンに任意の回転数を保存、操作する機能呼び出します。

④0 MEMORY PITCHインジケータ

MEMORY PITCH機能を使用時に点灯します。

④1 JOGダイヤル

MEMORY PITCH及びキー設定時に使用します。

④2 POWERスイッチ

本体の電源をON/OFFします。

④3 OUTPUTジャック

オーディオ信号を出力します。

④4 LEVEL切替スイッチ

オーディオ出力をLINEレベルかPHONOレベルに切り替えます。

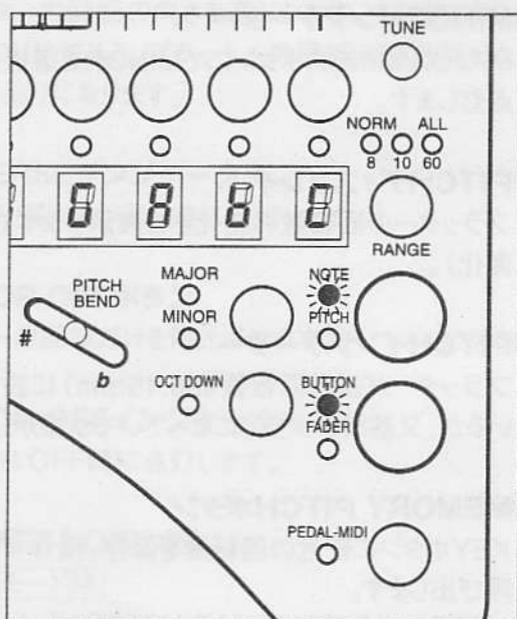
④5 MIDI INジャック

外部MIDIコントローラーを接続することができます。

本機はNOTEモードとPITCHモードの2つのモードでターンテーブルの回転数を変化させることができます。この2つのモードはNOTE/PITCHボタンにより切替えられます。

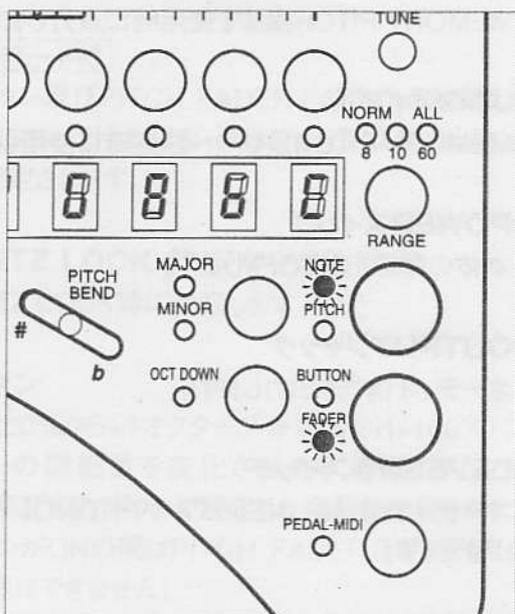
NOTEモードについて

- ・電源投入時にNOTEモードに設定されます。
- ・NOTEモードでは、シングルノート(単音)が録音されたレコードを33rpmで再生した際の音をC(ド)として設定します。
- ・PITCH FADER及びKEYボタンでプッタの回転数を変化させて、音階をつけて演奏することができます。
- ・NOTEモード時にはNOTEインジケータが点灯します。
- ・BUTTONコントロール又はFADERコントロールを選択できます。
- ・BUTTONコントロールの時、BUTTONインジケータが点灯します。
- ・FADERコントロールの時、FADERインジケータが点灯します。
- ・PITCH BENDで#からbの範囲に応じたターンテーブルの回転数を変化させることができます。



BUTTONコントロールの時

- ・KEYディスプレイにノートが表示されます。
- ・任意のKEYボタンを押すと、KEYディスプレイに表示されたノートに応じた回転数に変化します。
- ・エンコーダーを回すと、1クリック毎に各ボタンのキーが半音ずつずれます。
- ・TUNEボリュームでキーを微調整できます。



FADERコントロールの時

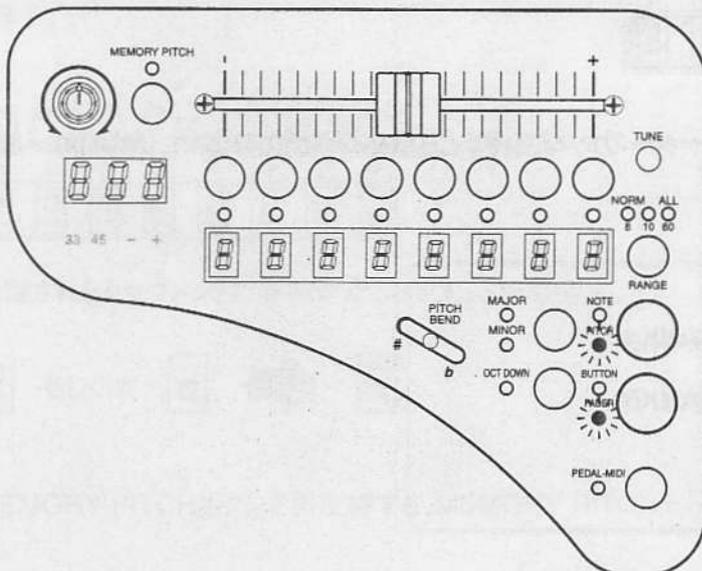
- ・KEYディスプレイにノートが表示されます。
- ・RANGEボタンでNORMALとALLに切替えられます。音階の可変幅は、NORMALは1オクターブ、ALLの時は2オクターブです。
- ・TUNEボリュームでキーを微調整できます。

NOTE : ディスプレイの表示と意味

 =A	 =A#
 =B	 =B#
 =C	 =C#
 =D	 =D#
 =E	 =E#
 =F	 =F#
 =G	 =G#

PITCHモードについて

- PITCHモードではFADERコントロールでプラッターの回転数を連続的に変化させます。
- PITCHモード時にBUTTONに切替えるとMEMORY PITCH PLAYモード(次頁参照)に切り替わります。
- RANGEボタンで±8%、±10%、±60%の3通りにPITCHの可変域を切替えることができます。



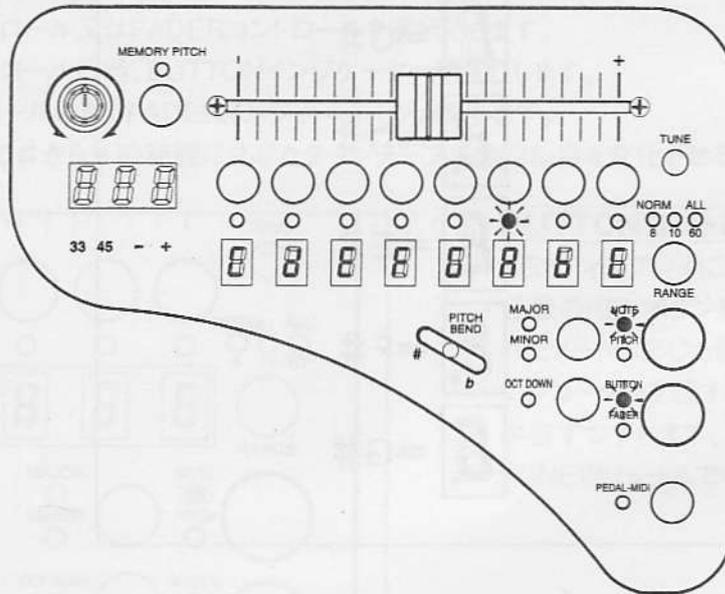
本機はMEMORY PITCHボタンより任意の回転数 (PITCH) を記憶しておくことができます。

MEMORY PITCHモードについて

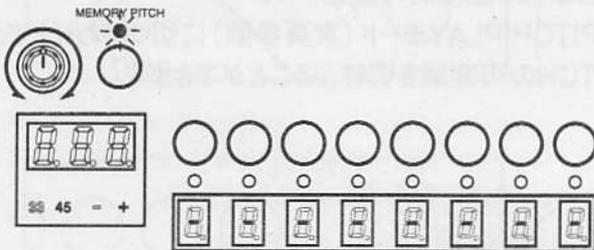
回転数 (PITCH) を保存する場合

- ①NOTEモード及びPITCHモードで任意の回転数を設定します。
- ②MEMORY PITCHボタンを押します。

【設定例】



- ③NOTEディスプレイが点灯し、BANKが表示されます。MEMORY PITCHインジケータが点灯します。



- ④エンコーダーを回してBANKナンバーを選び、エンコーダーのツマミを押すとBANKが決定されます。(BANK1~5まで選択できます。)

NOTE : ディスプレイの表示と意味

	=BANK1		=BANK4
	=BANK2		=BANK5
	=BANK3		

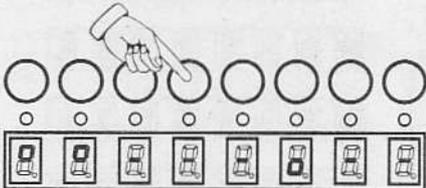
⑤NOTEディスプレイに選択したBANKナンバーが表示され、その後保存(又は削除)可能状態になります。



-  ←KEYボタンにPITCHモードで設定された回転数が保存されている時
-  ←KEYボタンにNOTEモードで設定された回転数が保存されている時
-  ←KEYボタンに回転数が保存されていない時

⑥回転数(PITCH)を保存したい箇所のKEYボタンが空いていることを確認し、押します。

ご注意 既に保存されている場合は削除してから保存して下さい。上書きはできません。



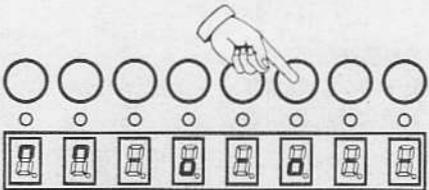
⑦保存されるとセグメントの表記が変わります。(保存完了。)



⑧MEMORY PITCHボタンを再度押すと、MEMORY PITCHモードが解除されます。

保存された回転数(PITCH)を削除する場合

⑨前述の②～⑤の操作をした後、消去したい回転数(PITCH)が保存されているNOTEボタンを選び長押し(約1.5秒間)します。



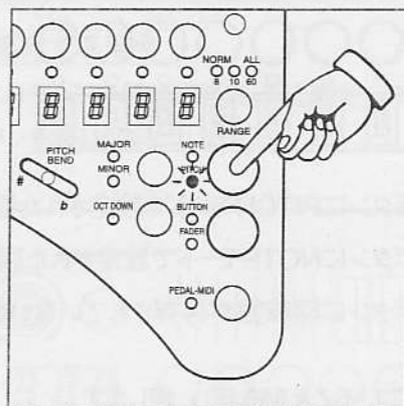
⑩削除されるとセグメントの表記が変わります。(削除完了。)



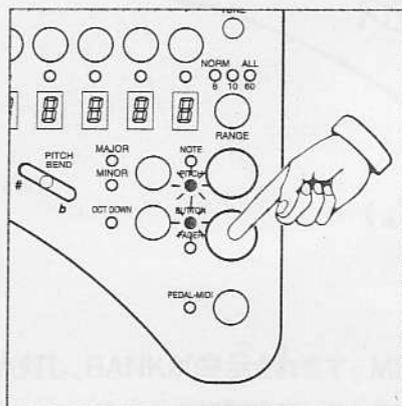
⑪MEMORY PITCHボタンを再度押すと、MEMORY PITCHモードが解除されます。

保存した回転数を使用して演奏する場合 (MEMORY PITCH PLAYモード)

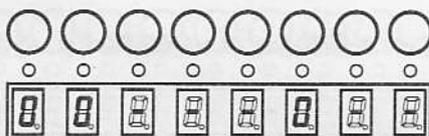
⑫PITCH/NOTE切替ボタンを押して、PITCHモードにします。



⑬FADER/BUTTON切替ボタンを押して、BUTTONに切り替えます。



⑭MEMORY PITCHモードで保存した回転数が各KEYボタンに配置されます。



 ← ボタンに回転数が保存されている時

 ← ボタンに回転数が保存されていない時

⑮エンコーダーを回すとBANKが切替わります。(BANK1~BANK5まで選択できます。)

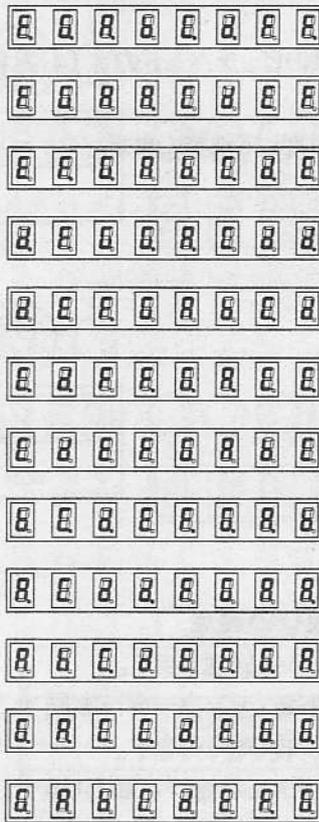
NOTE : ディスプレイの表示と意味

 	=BANK1	 	=BANK4
 	=BANK2	 	=BANK5
 	=BANK3		

各種設定

エンコーダーを操作して、ノート及び、KEYボタン、ピッチベンドの向き、KEYボタンの並びを変更することができます。

エンコーダーによる設定

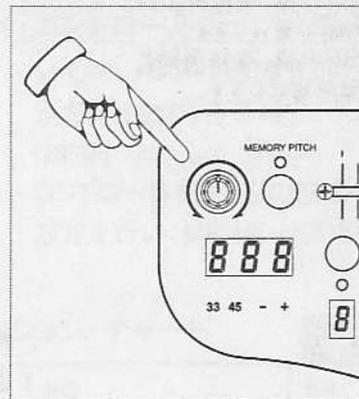


右回り

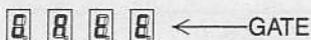
左回り

ノートの設定

- NOTEモードを選択します。
- エンコーダーを回すと、KEYボタンのノートが半音ずつシフトします。NOTEディスプレイはシングルノートレコード(単音が録音されたレコード)を再生した時のノートを表示します。図の範囲までの設定となります。



THROUGH又はGATE表示で点滅。エンコーダーを回す毎に切り替わります。



KEYボタンの設定

- 各モードにおいてボタンコントロールを選択します。
- エンコーダーを押すと左図の内容がNOTEディスプレイに表示されます。
- この時、エンコーダーを回すとキーボタンをGATE又はTHROUGHに切替えることができます。

GATE:モーメンタリータイプ。キーボタンを押している間のみ音声信号が出力される。

THROUGH:オルタネイトタイプ。キーボタンを押して離した後も出力状態を保ち続ける。

- THROUGH又はGATEを選択し、再度エンコーダーを押すと決定され、次の設定に移ります。



NORMAL又はREVERSE
表示で点滅。エンコーダーを
回す毎に切り替わります。



NORMALの時、本体表記の
通りに回転が変化します。
REVERSEの時、本体表記と
逆に回転が変化します。



NORMAL又はREVERSE
表示で点滅。エンコーダーを
回す毎に切り替わります。



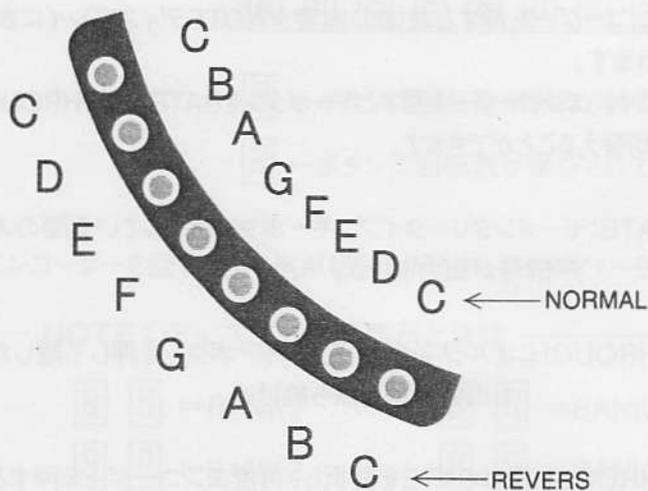
ピッチベンドの向きの設定

- KEYボタンの設定後、左図のようにNOTEディスプレイの表示が変わります。
- エンコーダーを回すごとにNORMAL又はREVERSEに切り替わります。
- 手前とコントロールパネル部のピッチベンドの# (+)とb (-)の向きが変わります。
- 向きを選択し、エンコーダーを押して決定します。
- 次の設定に移ります。

KEYボタン(手前側)の並びの設定

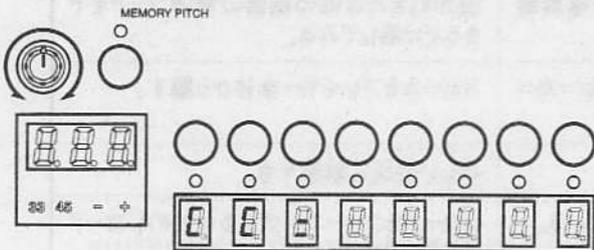
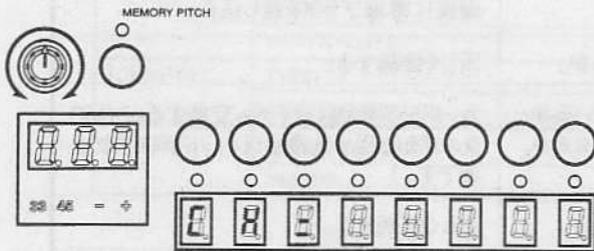
- 各モードにてボタンコントロールを設定します。
- ピッチベンドの向きの設定後、エンコーダーを回すごとにNORMAL又はREVERSEに切り替わります。
- 手前に配置されているKEYボタンの並びが変わります。
- 並び方を選択し、エンコーダーを押して決定します。
- 設定が完了します。

ご注意 各モードでフェーダーコントロールを設定している時はピッチベンドのみ設定可能となります。



MIDIモードについて

REMOTE ON/OFFボタンをONすると、外部MIDI機器からのMIDI NOTE信号を受けて、ターンテーブルの回転スピードを外部MIDI機器によって操作できます。



MIDIチャンネルの設定

- エンコーダーを押すと、KEYボタンの設定が行えます(エンコーダーによる設定参照)。次にピッチベンドの向きの設定を行い、3番目にMIDIチャンネルの設定を行うことができます。その時、セグメントは左図のような表示となります。

コントロールチェンジの設定

- MIDIチャンネルの設定の次にコントロールチェンジの設定を行えます。その時、セグメントは左図のような表示となります。
- コントロールチェンジの設定を行うと、KEYボタンの並びの設定を行い、MIDIモードの設定が終了となります。

MIDIインプリメンテーション・チャート

ファンクション...	送信	受信	備考
ベーシック チャンネル 電源ON時 設定可能	x x	1 1-16	
モード 電源ON時 メッセージ 代用	x x *****	モード4 (M=1) x	
ノート ナンバー :音域	x *****	37-83 43-78	
ベロシティ ノート・オン ノート・オフ	x x	x x	
アフタータッチ キー別 チャンネル別	x x	x x	
ピッチベンド	x	○	
コントロール チェンジ 0-31 32-63	x x	○ *1 ○	ピッチ・コントロール ピッチコントロール 0-31の下位7ビット
プログラム チェンジ :設定可能範囲	x *****	x	
エクスクルーシブ	x	x	
コモン :ソング・ポジション :ソング・セレクト :チューン	x x x	x x x	
リアル タイム :クロック :コマンド	x x	x x	
その他 :ローカルON/OFF :オール・ノート・オフ :アクティブ・センシング :リセット	x x x x	x x ○ x	
備考	*1 設定可能。電源ON時4 (フット・タイプ)。		

モード1:オムニ・オン、ポリ
モード3:オムニ・オフ、ポリ

モード2:オムニ・オン、モノ
モード4:オムニ・オフ、モノ

○:あり
x:なし

故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出される前にもう一度点検してください。
それでも正常に動作しないときは、お買い上げになった販売店にご相談ください。

症状	考えられる原因	処置
電源が入らない。	電源プラグがはずれている。	確実に電源プラグを差し込む。
電源を入れても音が出ない。	各機器の接続が間違っていないか。	正しく接続する。
音量が小さい。	レコードプレイヤー本体に取りつけているカートリッジに、MCタイプを使用していないか。	カートリッジをMMタイプへ交換する。(MCタイプを使用する場合はヘッドアンプが必要です。)
左右の音が逆になる。	各機器の接続が間違っていないか。	正しく接続する。
演奏中にブーンという低い音(ハム音またはバス音)が入る。	接続コードの近くに蛍光灯などの電気器具や電源コードがありませんか。	蛍光灯または他の機器の電源コードをできるだけ離してみる。
ランブルノイズや低周波ハウリングが起こる。	レコードプレイヤー本体の近くにスピーカーがありませんか。	スピーカをプレイヤー本体から離す。
針が飛んだり、横すべりする。	針圧が正しくない。	正しい針圧に設置する。
	レコードが汚れているか傷がついている。	レコードをクリーニングするか他のレコードと交換する。
	針先が磨耗している。	針を交換する。
音が片方しか出ない。または全くでない。	ヘッドシェルがトーンアームに確実に取り付けられていない。	確実に取り付ける。
	ヘッドシェル内のカートリッジリード線がはずれている。	確実に接続する。
	接続ケーブルが外れかけている、または外れている。	確実に接続する。
	接続ケーブル内の導線が断線して接触不良を起している。	ケーブルを交換する。
正常な音質が得られない。	針先にゴミがたまっているか消耗していませんか。	針先のゴミを専用のクリーニングブラシで取り除くか、針先を新品と交換する。
レコード再生スピードが正しくない。	回転数の設定が誤っていませんか。	レコードに記されている回転数に合わせる。(表記されていないものもあります。)
プラッターが回転しない。	電源プラグがはずれている。	確実に電源プラグを差し込む。
プラッターがガタガタする。回転がおかしい。	プラッターが本体にしっかり固定されていない。	付属のネジを使用し、プラッターと本体をネジで2点しっかり固定する。

主な仕様

TURNTABLE	MOTOR	DIRECT DRIVE QUARTZ
	STARTING UP TIME	0.5sec(33 1/3rpm)70°
	STARTING TORQUE	2.7kg・cm
	BRAKING SYSTEM	ELECTRONIC BRAKE
	SPEED	33 1/3rpm,45rpm
	PITCH	±8.10.60%
	WOW & FLUTTER	0.07% W.R.M.S
TONEARM	TYPE	DYNAMIC BALANCE TONEARM
	STYLUS PRESSURE	ADJUSTMENT RANGE 0~4.0g
OTHER	DIMENSIONS (W×H×D)	W376×D480×H160(mm)
	WEIGHT	10Kg

※仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書 (別添)

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り6年です。

この期間は通産省の指導によるものです。

性能部品とは、その製品の機能を維持する為に必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
(保証期間中であっても、内容により有償となる場合があります。)

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
見積りの必要な場合はあらかじめお伝えください。

便利メモ	お買い上げの日	
	お買い上げ店名	☎ () -

CONGRATULATIONS !

Thank you for purchasing the Vestax VMC-004FX Mixing Controller. We suggest that you read through this owner's manual thoroughly so that you may enjoy the full use of this product safely and in the knowledge of all its special features and suitably applications.

CONTENTS

Features	24
Before using the CONTROLLER ONE	24
How to Assembly the CONTROLLER ONE	25
Connections and setting	27
TONE ARM SETTING	27
CONTROL LAYOUT	29
FUNCTIONS	30
NOTE MODE	32
PITCH MODE	33
MEMORY PITCH MODE	34
SETTINGS	37



CAUTION

RISK OF ELECTRIC SHOCK DO NOT OPEN



**CAUTION : TO REDUCE THE RISK OF ELECTRIC SHOCK
DO NOT REMOVE COVER (OR BACK)
NO USER-SERVICEABLE PARTS INSIDE
REFER SERVICING TO QUALIFIED SERVICE PERSONNEL**



The lightning flash with arrowhead symbol, within an equilateral triangle, is intended to alert the user to the presence of uninsulated "dangerous voltage" within the product's enclosure that may be of sufficient magnitude to constitute a risk of electric shock to persons.



The exclamation point within an equilateral triangle is intended to alert the user to the presence of important operating and maintenance (servicing) instructions in the literature accompanying the appliance.

TO REDUCE THE RISK OF FIRE OR ELECTRIC SHOCK, DO NOT EXPOSE THIS APPLIANCE TO RAIN OR MOISTURE.

IMPORTANT SAFEGUARDS

READ BEFORE OPERATING EQUIPMENT

This product was designed and manufactured to meet strict quality and safety standards. There are, however, some installation and operation precautions which you should be particularly aware of.

1. Read instructions-All the safety and operating instructions should be read before the appliance is operated.
2. Retain instructions-The safety and operating instructions should be retained for future reference.
3. Heed Warnings-All warnings on the appliance and in the operating instructions should be adhered to.
4. Follow Instructions-All operating and use instructions should be followed.
5. Cleaning-Do not use liquid cleaners or aerosol cleaners. Use a damp cloth for cleaning.
6. Attachments-Do not use attachments not recommended by the product manufacturer as they may cause hazards.
7. Water and Moisture-Do not use this product near water-for example, near a bath tub, wash bowl, kitchen sink, or laundry tub, in a wet basement, or near a swimming pool, and the like.
8. Accessories-Do not place this product on an unstable cart, stand, tripod, or table. The product may fall, causing serious injury to a child or adult, and serious damage to the appliance. Use only with a cart, stand, tripod, bracket, or table recommended by the manufacturer, or sold with product. Any mounting of the appliance should follow the manufacturer's instructions, and should use a mounting accessory recommended by the manufacturer.
9. This product should never be placed near or over a radiator or heat register. This product should not be placed in a built-in installation such as a bookcase or rack unless proper ventilation is provided or the manufacturer's instructions have been adhered to.
10. Power sources-This product should be operated only from the type of power source indicated on the marking label. If you are not sure of the type of power supply to your home, consult your appliance dealer or local power company.
11. Lightning-For added protection of this product during a lightning storm, or when it is left unattended and unused for long periods of time, unplug it from the wall outlet. This will prevent damage to the product due to lightning and power-line surges.
12. Overloading-Do not overload wall outlets and extension cords as this can result in a risk of fire or electric shock.
13. Object and Liquid Entry-Never push objects of any kind into this product through openings as they may touch dangerous voltage points or short-out parts that could result in a fire or electric shock. Never spill liquid of any kind on the product.
14. Servicing-Do not attempt to service product yourself as opening or removing covers may expose you to dangerous voltage or other hazards. Refer all servicing to qualified personnel.
15. Damage Requiring Service-Unplug this product from the wall outlet and refer servicing to qualified service personnel under the following conditions:
 - a. When the power-supply cord or plug is damaged.
 - b. If liquid has been spilled or objects have fallen into the product.
 - c. If the product has been exposed to rain or water.
 - d. If the product does not operate normally by following the operating instructions. Adjust only those controls that are covered by the operating instructions as an improper adjustment of other controls may result in damage and will often require extensive work by a qualified technician to restore the product to its normal operation.
 - e. If the product has been dropped or cabinet has been damaged.
 - f. When the product exhibits a distinct change in performance this indicates need for service.

16. Replacement Parts-When replacement parts are required, be sure the service technician has used replacement parts specified by the manufacturer or have the same characteristics as the original parts. Unauthorized substitutions may result in fire, electric shock or other hazards.
17. Safety Check-Upon completion of any service or repairs to product, ask the service technician to perform safety checks to determine that the product is in proper operating condition.

18. Carts and Stands-The appliance should be used only with a cart stand that is recommended by manufacturer.
19. An appliance and cart combination should be moved with care. Quick stops, excessive force, and uneven surfaces may cause the appliance and cart combination to overturn.



FEATURES

- The CONTROLLER ONE allows you to create scales and melodies by playing single note records.
- Scales can be tuned with other instruments such as guitars and pianos with the TUNE volume.
- The memory pitch mode saves the RPM speed of the CONTROLLER ONE, which allows you to create your own original scale and performances.
- The MIDI SYNC feature synchronizes the CONTROLLER ONE's RPM speed to the MIDI NOTE signals sent from sequencers.
- 2 Operation modes, PITCH mode and NOTE mode can be changed to suite your preference and performance easily with a flick of a switch.
- Features such as the 8 KEY buttons, Pitch bend, UP button and DOWN button have been designed for playing scales and melodies.

Before using the CONTROLLER ONE

INCLUDED ITEMS

A number of parts are not attached to the CONTROLLER ONE. Please check if all items listed below are included.

- | | | |
|----------------------------|-------|------------------------|
| 1 CONTROLLER ONE main unit | | 1 Shell Weight |
| 1 Platter | | 1 EP Adaptor |
| 1 Slipmat | | 2 screws (For platter) |
| 1 Head shell | | 1 Screw Driver |
| 1 Balance Weight | | 1 Users Manual |
| | | 1 RCA cable |
| | | 1 GND cable |

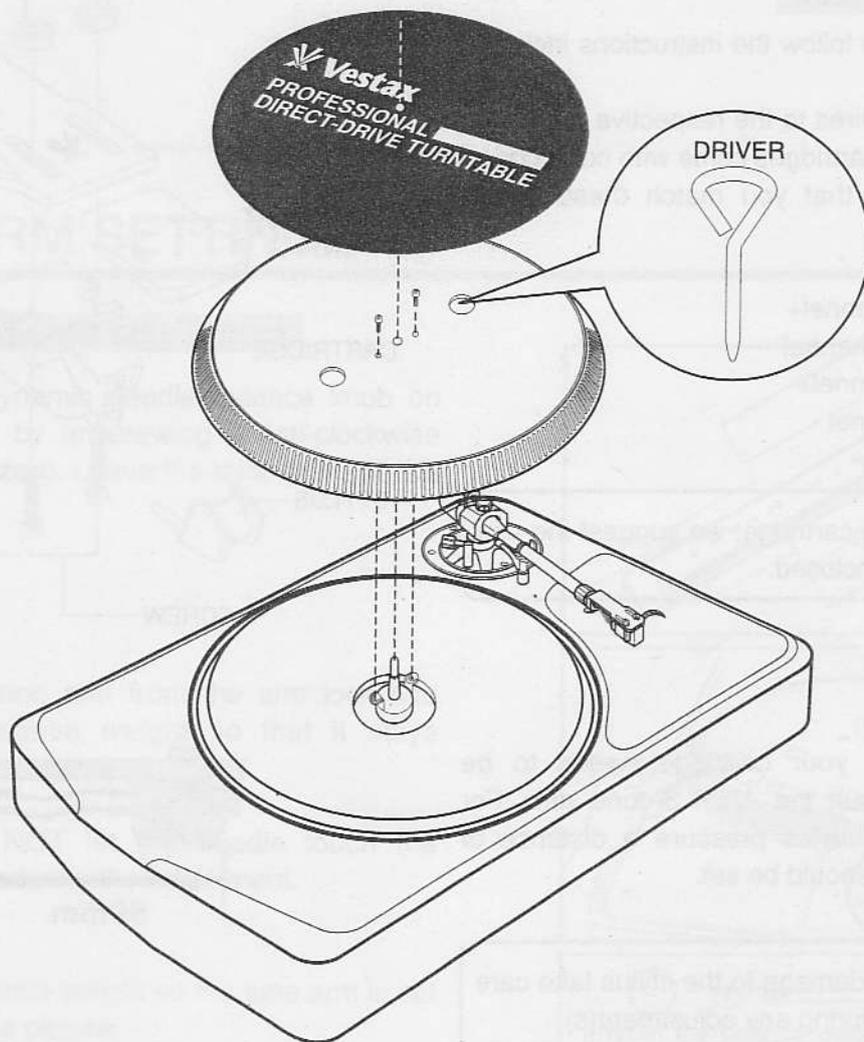
How to Assembly the CONTROLLER ONE

Turntable Assembly

- (1) Place the platter on the center spindle. The platter will adjust itself to best fit over the spindle.
- (2) Adjust the positioning of a platter so that a screw goes into a screw holes.
- (3) Tighten screws using a driver and fix a platter and a main unit.
- (4) Place the slip mat on the platter.

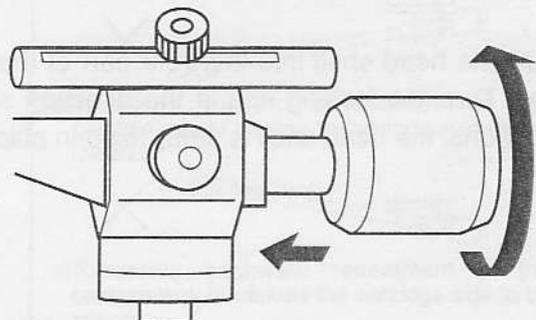
NOTE

In case of an assembly, be careful so that a main unit and a platter do not collide strongly. If the player is operated without fixing the screws, the platter may not rotate properly. Do not plug into a power outlet until this unit is fully assembled and adjusted.



Installing the Balance Weight

From the backend of the tone arm (towards the rear panel) place the balance weight onto the shaft and turn counter clockwise. (Refer to the illustration)



How to use the Slipmat

Place the slip mat on the platter. Then place a record on top of the slip mat. By using a slip mat, it becomes possible to stop a record board by hand during rotation of a platter or to make it reverse. Moreover, if an optional slip-sheet is set and used, it will take effect more.



Top: Record disc side (Printed side)
Bottom: Slip surface side

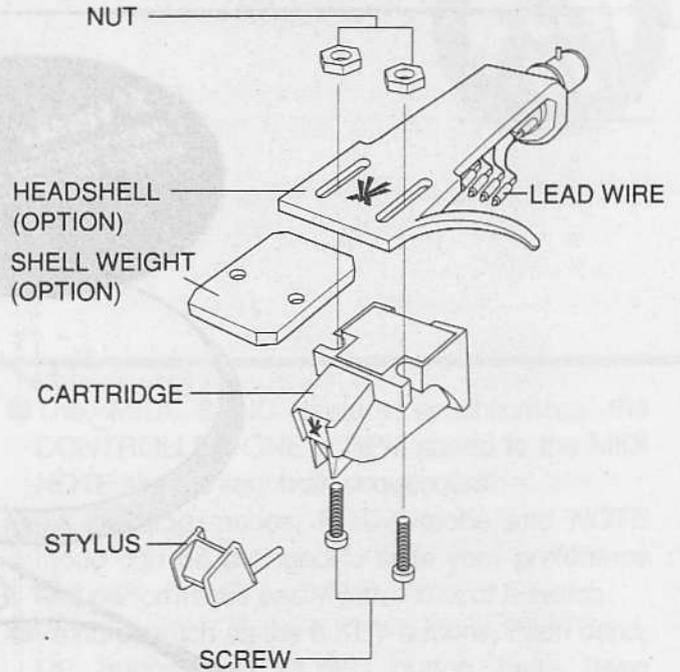
Cartridge Attachment

- (1) Make sure that you follow the instructions included with your cartridge.
- (2) Connect the lead wires to the respective terminals. Industry standard cartridges come with color-coded wires. Make sure that you match these colors correctly.

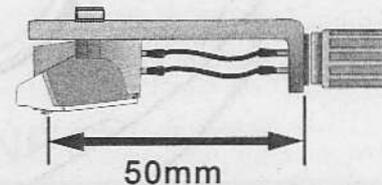
Red (R+) Right Channel+
 Green (R-) Right Channel -
 White (L-) Left Channel+
 Blue (L-) Left Channel -

NOTE

If using a lightweight cartridge, we suggest the use of the shell weight enclosed.



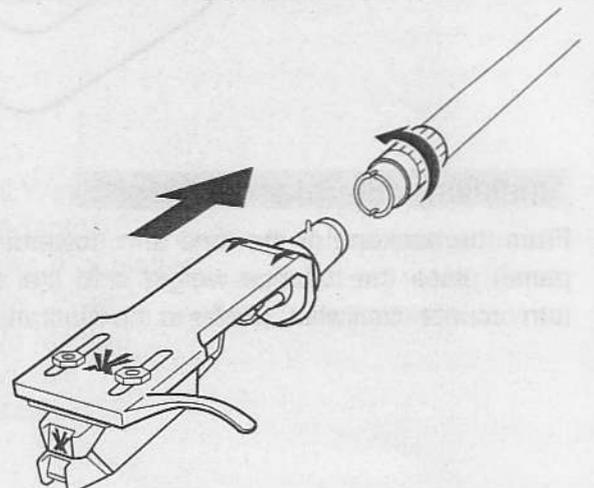
- (3) The overhang of your cartridge needs to be adjusted to best suit the A.S.T.S tone arm. For best tracking and stylus pressure a distance of 50mm (as shown) should be set.



NOTE

To avoid premature damage to the stylus take care to avoid touching it during any adjustment(s).

- (4) Insert the head shell into the front part of the tone arm. Turn the locking ring in the direction shown below until the head shell is firmly fixed in place.



Connections and setting

Setting the CONTROLLER ONE

- Set the body on a solid horizontal surface that is not affected by external vibrations.
- Set the CONTROLLER ONE away from the speaker system as much as possible.
- Avoid sunlight, dust, moisturized places and heater when placing the CONTROLLER ONE
- Set the CONTROLLER ONE away from radios (FM/AM). It may cause noises.

POWER CONNECTION

- Connect the power cable to a power plug.

NOTE: Please make sure that the power cable is supplied with the correct voltage.

TONE ARM SETTING

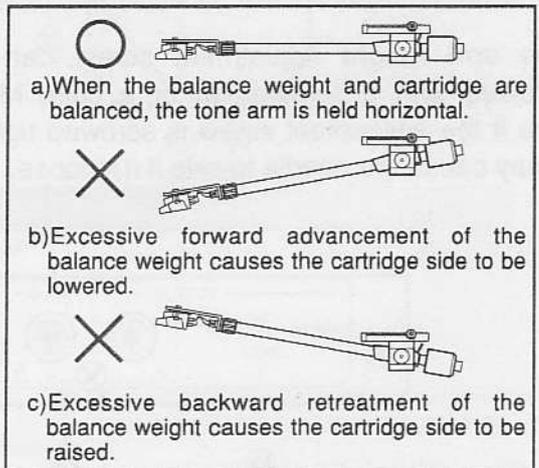
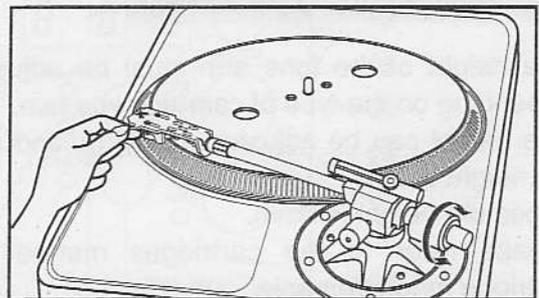
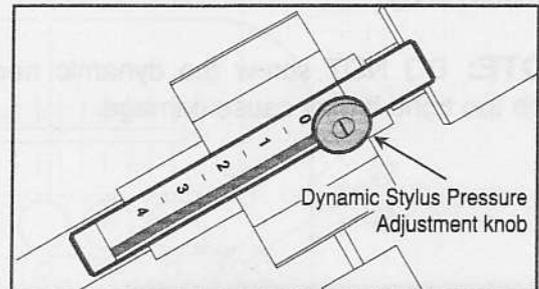
Horizontal balance adjustment

1. Loosen the dynamic needle balance knob on the tone arm by unscrewing it anti-clockwise and slide it to zero. Leave the knob loose at this time.

2. Release the tone arm from the arm lock and rotate the balance weight so that it stays horizontal.

NOTE: DO NOT let the needle touch the platter or body during the adjustment.

3. Adjust the balance weight so the tone arm is set as shown in the picture.



Needle pressure adjustment

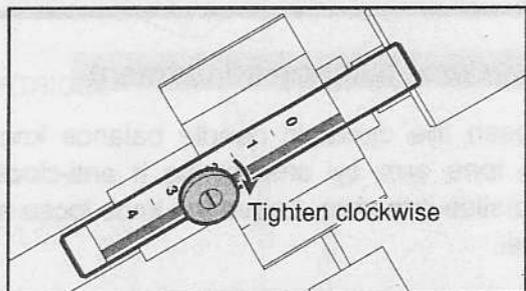
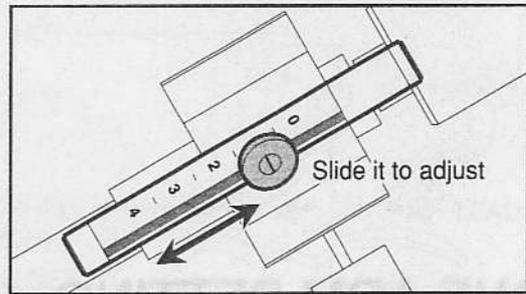
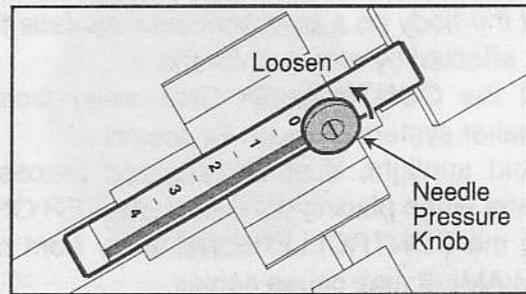
4. Check if the dynamic needle pressure knob slides.

NOTE: If the balance weight moves while setting the needle pressure level, restart from setting the balance weight.

5. Slide the dynamic needle balance knob to the specified pressure level of the cartridge. * **NOTE:** If the needle pressure is too strong, it may cause skipping and less operating life of the needle.

6. Screw the dynamic needle balance knob clockwise to secure setting. Maximum needle pressure is 5g.

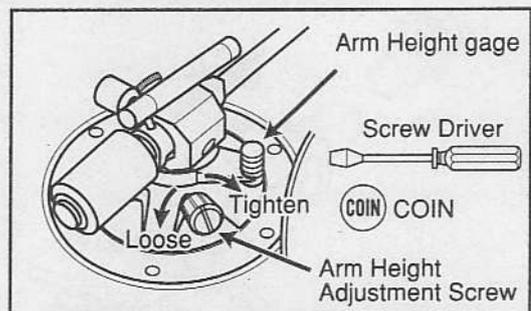
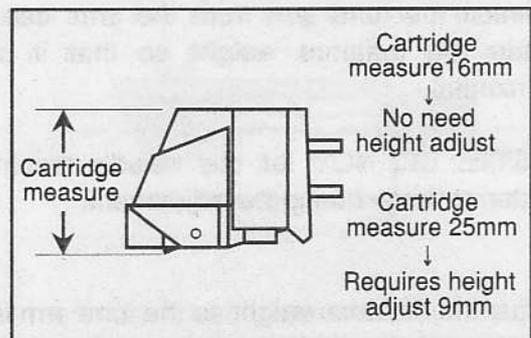
NOTE: DO NOT screw the dynamic needle knob too tight. It may cause damage.



ARM HEIGHT ADJUSTMENT

- The height of the tone arm must be adjusted depending on the type of cartridge you use. The height can be adjusted easily, guided with the height scale. Maximum height is 9mm. Please refer to the cartridges manual for cartridge measurements.

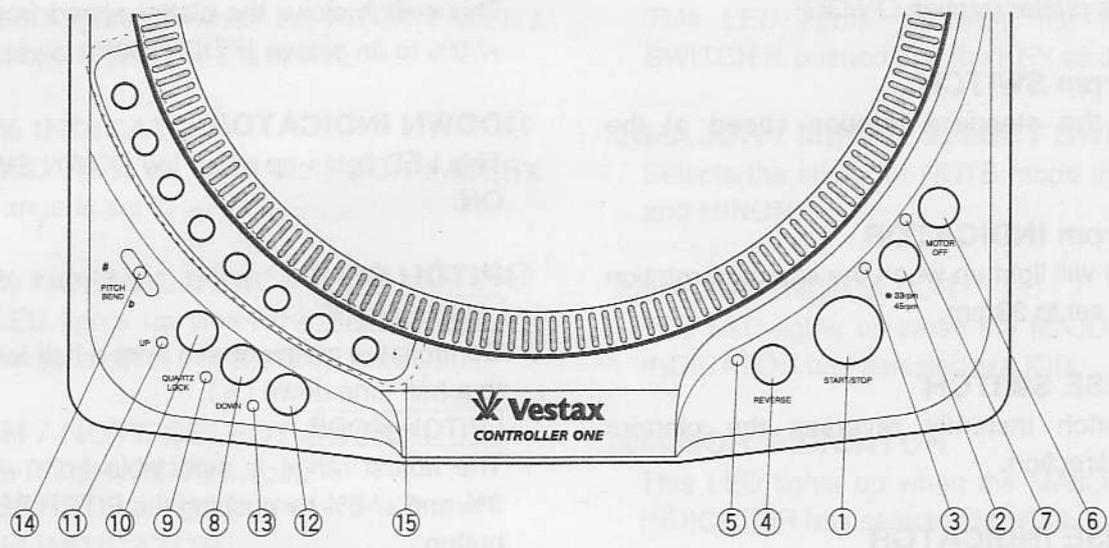
- The arm height adjustment screw can be screwed with a screwdriver or a coin. Make sure the adjustment screw is screwed tightly. It may cause the needle to skip if it is loose.



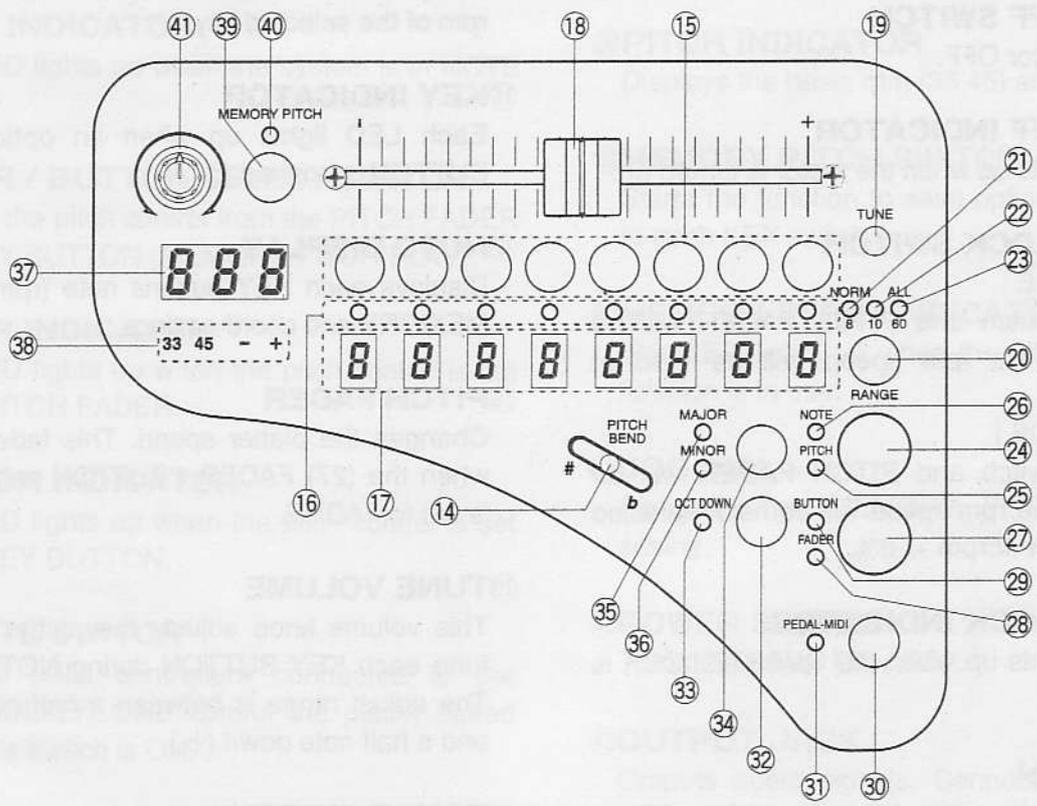
CONTROL LAYOUT

FUNCTIONS

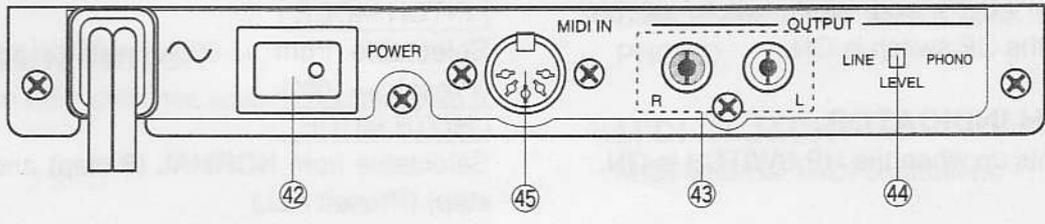
TOP AREA



CONTROL PANEL AREA



REAR PANEL AREA



FUNCTIONS

- ① **START/STOP SWITCH**
Turns the platter rotation ON/OFF.
- ② **33/45rpm SWITCH**
Selects the standard rotation speed of the platter.
- ③ **33/45rpm INDICATOR**
This LED will light up when the standard rotation speed is set to 33rpm.
- ④ **REVERSE SWITCH**
This switch instantly reverses the platters rotation direction.
- ⑤ **REVERSE INDICATOR**
This LED lights up when the REVERSE SWITCH is turned ON.
- ⑥ **MOTOR OFF SWITCH**
Turns the motor OFF.
- ⑦ **MOTOR OFF INDICATOR**
This LED lights up when the motor is turned off.
- ⑧ **QUARTZ LOCK SWITCH**
NOTE MODE
The KEY switch and PITCH FADER will be invalid and the rpm speed will be held at 33rpm+/-0%.
PITCH MODE
The KEY switch and PITCH FADER will be invalid and the rpm speed will be held, selected from 33rpm or 45rpm +/-0%.
- ⑨ **QUARTZ LOCK INDICATOR**
This LED lights up when the QUARTZ LOCK is in function.
- ⑩ **UP SWITCH**
This switch raises the platter speed from 33rpm +/-0% to an octave (PTICH +100%) higher. Push the switch again to cancel the function. The PITCH FADER and KEY switch will be invalid while the UP switch is ON.
- ⑪ **UP SWITCH INDICATOR**
This LED lights up when the UP SWITCH is ON.
- ⑫ **DOWN SWITCH**
This switch slows the platter speed from 33rpm +/-0% to an octave (PTICH -50%) lower.
- ⑬ **DOWN INDICATOR**
This LED lights up when the DOWN SWITCH is ON.
- ⑭ **PITCH BEND**
NOTE MODE
Controls the platter speed from a half tone up (#) to a half tone down (b).
PITCH MODE
The adjust range is selectable from +/-1%, +/-3% and +/-6% by pushing the PITCH BEND as a button.
- ⑮ **KEY BUTTON**
Each button changes the platter speed to the rpm of the selected key.
- ⑯ **KEY INDICATOR**
Each LED lights up when an optional KEY BUTTON is pushed.
- ⑰ **NOTE DISPLAY**
Displays each KEY buttons note (rpm), PITCH MEMORY and chord settings.
- ⑱ **PITCH FADER**
Changes the platter speed. This fader is used when the (27) FADER / BUTTON select switch is set to FADER.
- ⑲ **TUNE VOLUME**
This volume knob adjusts the platter speed to tune each KEY BUTTON during NOTE MODE. The adjust range is between a half note up (#) and a half note down (b).
- ⑳ **RANGE SWITCH**
Selects the variable pitch range of the PITCH FADER.
PITCH MODE
Selectable from +/-60%, +/-10% and +/-8%. (Preset: +/-10%)
NOTE MODE
Selectable from NORMAL (8 step) and ALL (16 step) (Preset: ALL)

②① ±8% ALL INDICATOR

This LED lights up when the PITCH FADER's pitch range is set to +/-8% or ALL.

②② ±10% INDICATOR

This LED lights up when the PITCH FADER's pitch range is set to +/-10%.

②③ ±60% NORMAL INDICATOR

This LED lights up when the PITCH FADER's pitch range is set to +/-60% or NORMAL.

②④ PITCH / NOTE SELECT SWITCH

Selects PITCH / NOTE mode.

②⑤ PITCH INDICATOR

This LED lights up when the system is in PITCH mode.

②⑥ NOTE INDICATOR

This LED lights up when the system is in NOTE mode.

②⑦ FADER / BUTTON SELECT SWITCH

Selects the pitch control from the PITCH FADER and KEY BUTTON (MEMORY PITCH PLAY).

②⑧ FADER INDICATOR

This LED lights up when the pitch control is set to the PITCH FADER.

②⑨ BUTTON INDICATOR

This LED lights up when the pitch control is set to the KEY BUTTON.

③⑩ REMOTE SWITCH

External MIDI controllers connected to the CONTROLLER ONE control the platter speed when this switch is ON.

③⑪ REMOTE INDICATOR

This LED lights up when the REMOTE SWITCH is ON.

③⑫ Oct DOWN SWITCH

Shifts the KEY switches scale 1 octave down.

③⑬ Oct DOWN INDICATOR

This LED lights up when the Oct DOWN SWITCH is pushed and the KEY scale is shifted.

③⑭ MAJOR / MINOR SELECT SWITCH

Selects the scale for NOTE mode from MAJOR and MINOR.

③⑮ MAJOR INDICATOR

This LED lights up when the MAJOR / MINOR INDICATOR has selected MAJOR.

③⑯ MINOR INDICATOR

This LED lights up when the MAJOR / MINOR INDICATOR has selected MINOR.

③⑰ PITCH SEGMENT DISPLAY

Displays the pitch level in percentage.

③⑱ PITCH INDICATOR

Displays the basic rpm (33,45) and its +/- status.

③⑲ MEMORY PITCH SWITCH

Starts the function to save optional rpm speeds to each KEY switch.

④① MEMORY PITCH INDICATOR

This LED lights up when the MEMORY PITCH function is in use.

④② JOG DIAL

Operates the MEMORY PITCH and chord setting.

④③ POWER SWITCH

Turns the power ON / OFF.

④④ OUTPUT JACK

Outputs audio signals. Connect to a mixer or other audio devices.

④⑤ OUTPUT LEVEL SELECT SWITCH

Selects the audio output level from LINE and PHONO.

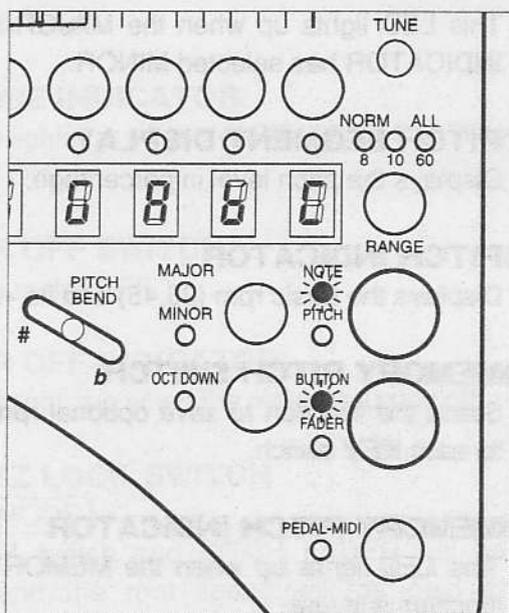
④⑥ MIDI IN JACK

MIDI external MIDI controllers.

The CONTROLLER ONE can change the rpm via PITCH mode and NOTE mode with the PITCH / NOTE SELECT SWITCH.

NOTE MODE

- The NOTE MODE is designed to use a C chord single note record (33rpm) as its standard sound source.
- Notes are playable by controlling the platter speed with the PITCH FADER and KEY switches.
- The NOTE INDICATOR will light up when NOTE MODE is ON.
- An option of selecting the control from the PITCH FADER and KEY switches.
- The BUTTON INDICATOR will light up when the control is set to the KEY switches.
- The FADER INDICATOR will light up when the control is set to the PITCH FADER.
- The PITCH BEND adjusts the platter speed from # to b .
- The CONTROLLER ONE is set to NOTE mode when the power is turned ON.

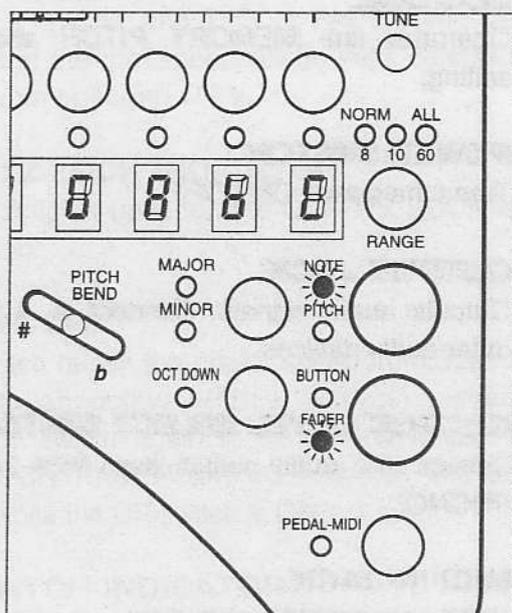


BUTTON CONTROL

- The KEY SEGMENT displays the chord of each KEY BUTTON.

NOTE: Chords displayed are based on use of a C chord single note record.

- The platter speed will change to the rpm of the chord displayed on the selected KEY BUTTON.
- The chord of each KEY BUTTON will shift a half note at every click of the JOG dial.
- Chords can be tuned with the TUNE VOLUME knob.



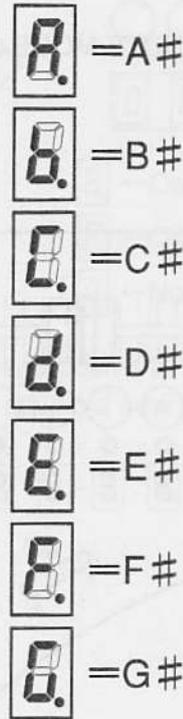
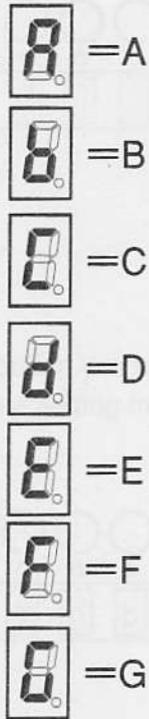
FADER CONTROL

- The KEY SEGMENT will display the chord.

NOTE: Chords displayed are based on use of a C chord single note record.

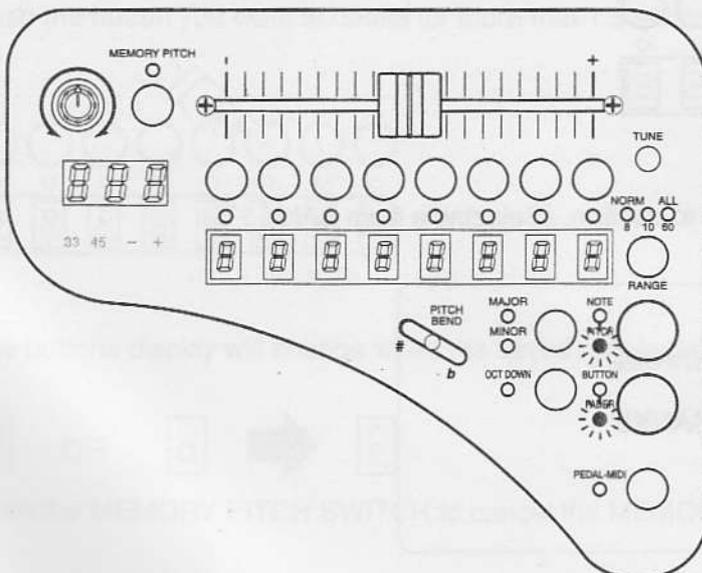
- The pitch range is selectable from NORMAL and ALL with the RANGE button. The variable pitch range of NORMAL is 1 octave and ALL is 2 octaves.
- Chords can be tuned with the TUNE VOLUME knob.

NOTE : SEGMENT DISPLAY



PITCH MODE

- The PITCH FADER controls the PITCH MODE.
- The mode will enter MEMORY PITCH PLAY MODE (ref. P16) by selecting BUTTON during PITCH MODE.
- The RANGE switch selects the variable pitch range from +/-8%, +/-10% and +/-60%.



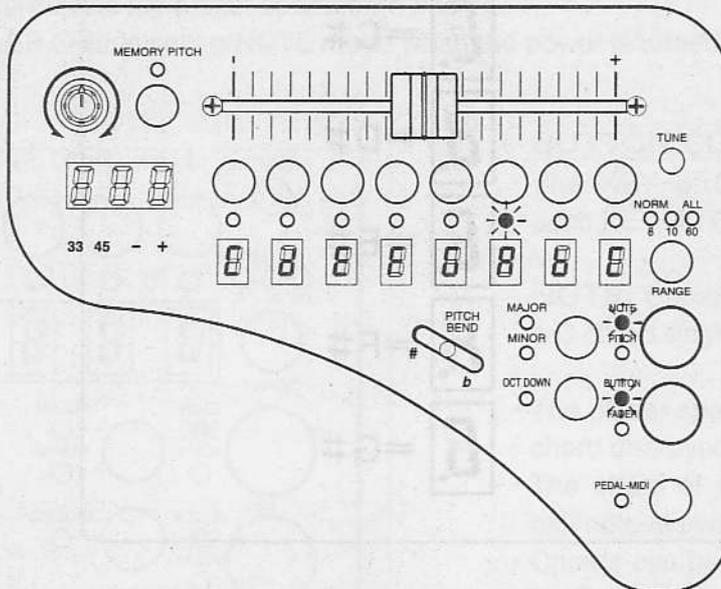
The CONTROLLER ONE can save optional rpm settings (PITCH) with the MEMORY PITCH SWITCH.

MEMORY PITCH MODE

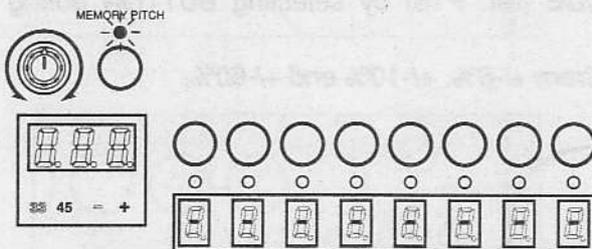
How to save an optional PITCH

- ① Select the optional rpm you want to set in NOTE MODE or PITCH MODE.
- ② Push the MEMORY PITCH SWITCH

[Setting Example]



- ③ The KEY SEGMENT will blink and the BANK will show on the display. The MEMORY PITCH INDICATOR will blink.



- ④ Turn the encoder to select a bank and push it to confirm. (Selectable from BANK 1~5)

NOTE : SEGMENT DISPLAY

		=BANK1			=BANK4
		=BANK2			=BANK5
		=BANK3			

SETTINGS

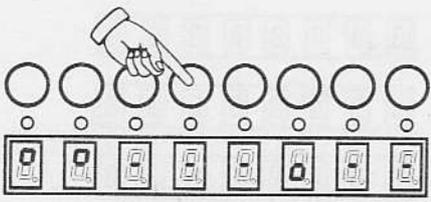
⑤ The KEY SEGMENT will blink the selected BANK and the mode will be ready to save (delete) it. Each buttons saving condition will be displayed.



-  ← Optional PITCH saved to the button.
-  ← Optional NOTE saved to the button.
-  ← No rpm saved to the button.

⑥ Check if the button you want to save is empty, and push it to execute.

NOTE: Previous setting must be deleted before saving a new rpm speed.



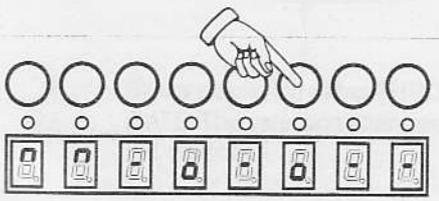
⑦ The buttons display will change when the settings are saved. (Completed)



⑧ Push the MEMORY PITCH SWITCH to cancel the MEMORY PITCH mode.

How to delete a saved PITCH

⑨ Push the button you want to delete for more that 1.5 seconds after procedure 5.



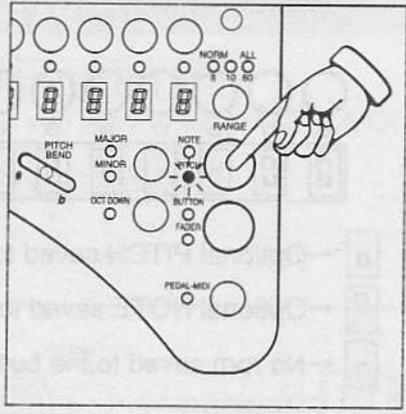
⑩ The buttons display will change when the saved rpm is deleted. (Completed)



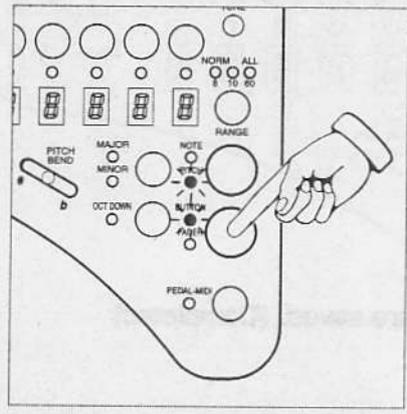
⑪ Push the MEMORY PITCH SWITCH to cancel the MEMORY PITCH mode.

How to operate the saved PITCH

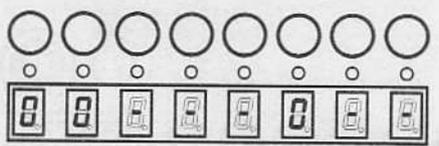
⑫ Select PITCH mode with the PITCH / NOTE SELECT SWITCH.



⑬ Select BUTTON with the FADER / BUTTON SELECT SWITCH.

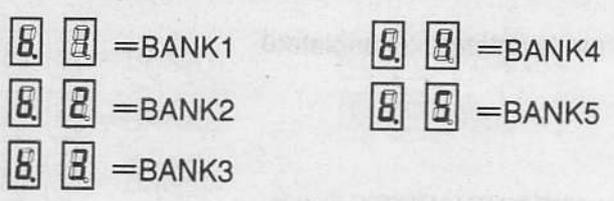


⑭ The rpm speed saved in MEMORY PITCH mode will be assigned to each KEY BUTTON.
No rpm speed saved.



-  ← When the RPM of PITCH is saved to the button
-  ← When the RPM of NOTE is saved to the button
-  ← When the RPM is NOT saved to the button

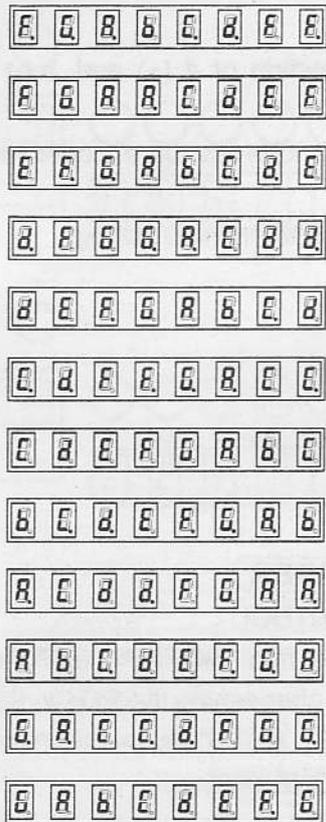
NOTE : SEGMENT DISPLAY



SETTINGS

The encoder can change / adjust chords, **KEY BUTTONS**, direction of the **PITCH BEND** and the **KEY BUTTON** assignment.

What the encoder can set / adjust

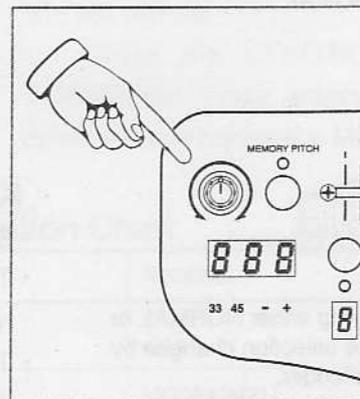


Clockwise

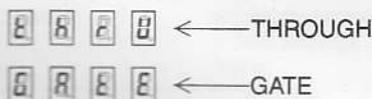
Counter
Clockwise

NOTE Setting

- Select NOTE mode.
- Rotate the encoder to shift each KEY buttons note. The note display will display the note of when a single note record is played. The setting range is a shown in the picture.



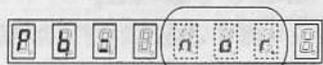
Blinks displaying either THROUGH or GATE. The selection changes by rotating the encoder.



KEY BUTTON setting

- Select button control.
 - The KEY. SEGMENT will display as it shows in the left picture when the encoder is rotated.
 - Rotate the encoder to change the BUTTON(s) operation mode from GATE to THROUGH.
- ※GATE= Momentary type. The sound is played while the button is pushed.
- ※THROUGH= Alternate type. The sound continues to play after the button is pushed.
- Select either THROUGH or GATE and push the encoder to execute the setting.

Blinks displaying either THROUGH or GATE. The selection changes by rotating the encoder.



Blinks displaying either NORMAL or REVERS. The selection changes by rotating the encoder.



The platter rotates as printed on the body.



The platter rotates opposite to as printed on the body.



Blinks displaying either NORMAL or REVERS. The selection changes by rotating the encoder.



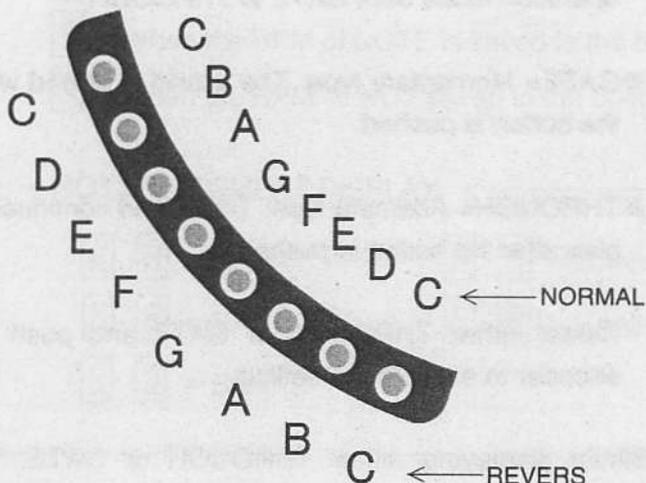
PITCH BEND

- The KEY SEGMENT displays as shown in the left picture after executing the KEY BUTTON setting.
- The display switches from NORMAL to REVERS by rotating the encoder.
- The pitch bends direction of # (+) and b (-) become opposite.
- Select the direction and press the encoder to execute the setting.
- The system moves on to the next setting.

KEY BUTTON ORDER

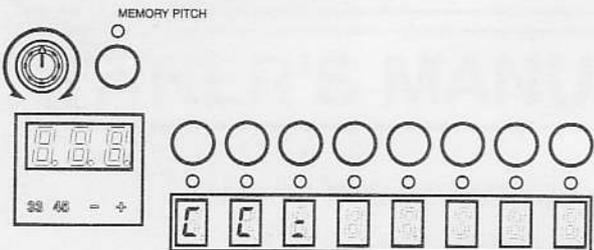
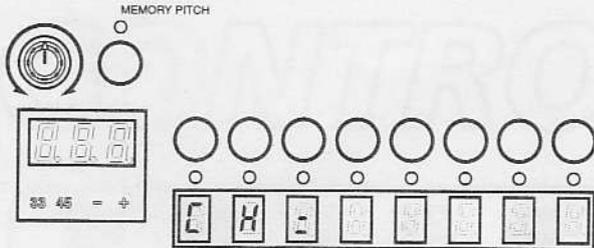
- Select BUTTON CONTROL
- The display switches from NORMAL to REVERS by rotating the encoder after setting the PITCH BEND.
- The order of the KEY BUTTONS on the front side of the CONTROLLER ONE reverse.
- Select the order and push the encoder to execute the setting.
- The settings are all completed.

NOTE: If the PITCH FADER is the selected PITCH control in each mode, the PITCH BEND will be the only setting adjustable.



MIDI MODE

The MIDI MODE activates when the REMOTE switch is turned ON, allowing external MIDI controllers to control the CONTROLLER ONE's platter speed.



MIDI CHANNEL setting

Push the encoder (REMOTE switch ON) to enter the KEY BUTTON setting (ref. SETTINGS). Push again to enter the PITCH BEND settings and then push again to enter the MIDI channel settings. The display will show as in the left picture.

CONTROL CHANGE setting

The mode enters CONTROL CHANGE setting after MIDI CHANNEL setting. The display will show as in the left picture.

Once the CONTROL CHANGE setting is finished the mode enters KEY BUTTON ORDER and then completes the MIDI MODE setting.

MIDI Implementation Chart

FUNCTION		SEND	RECEIVE	NOTE
BASIC CHANNEL	POWER ON ADJUSTABLE	X X	1 1-16	
MODE	POWER ON MESSAGE SUBSTITUTE	X X *****	MODE4 (M21) X	
NOTE NUMBER	SCALE	X *****	37-83 43-78	
VELOCITY	NOTE ON NOTE OFF	X X	X X	
AFTER TOUCH	KEY SEPARATE CHANNEL SEPARATE	X X	X X	
PITCH BEND		X	○	
CONTROL CHANG	0-31 32-63	X	○ *1	PITCH CONTROL 0-31 LOWER 7bit
PROGRAM CHANGE	ADJUST RANGE	X *****	X	
EXCLUSIVE		X	X	
COMMON	SONG POSITION SONG SELECT TUNE	X X X	X X X	
REAL TIME	CLOCK COMMAND	X X	X X	
OTHER	LOCAL ON/OFF ALL NOTE OFF ACTIVE SENSING RESET	X X X X	X X ○ X	
	*1	ADJSUTABLE	POWER ON 4 (FOOT TYPE)	

MODE1 : OMNI ON, POLYPHONIC
MODE3 : OMNI OFF, POLYPHONIC

MODE2 : OMNI ON, MONOPHONIC
MODE4 : OMNI OFF, MONOPHONIC

○: CAN
X: CANNOT

CONTROLLER ONE 補足説明書

この度は、当社製品 Controller One をお買い求め頂き誠にありがとうございます。
本取扱説明書に一部誤り及び追記がございますので、下記ご参照の上、説明書と併せてお読みください。

【取扱説明書 10 ページ】

⑭ PITCH BEND

PITCH モード時

(誤) BEND を押すごとで $\pm 1\%$ 、 $\pm 3\%$ 、 $\pm 6\%$ の可変幅に調節し、回転数を操作します。

↓

(正) JOG ダイヤル(41)で可変幅を設定することで、 ± 1 、 ± 2 、 ± 3 、 \dots 、 ± 9 、 $\pm 10\%$ の範囲で瞬時に回転数を操作できます。

【追記】

◆ PITCH BEND 可変幅の設定

可変幅を ± 1 、 ± 2 、 ± 3 、 \dots 、 ± 9 、 $\pm 10\%$ の 10 段階に設定します。

可変幅の設定変更は次の通りになります。

- ① PITCH モードに切替え、JOG ダイヤルを押します。
- ② 押すごとに、NOTE ディスプレイ表示が "Pb=nor" → "Pr=02" (※初期設定時) と変化します。
- ③ "Pr=02" の表示に切替りましたら、JOG ダイヤルを回します。時計回りに回すと数値が増えていき、1~10 の範囲で $\dots 03 \rightarrow 04 \rightarrow \dots \rightarrow 09 \rightarrow 10$ となります。
反時計回りに回すと数値が減っていく降順になります。
設定する数値のところで JOG ダイヤルを押し、可変幅の設定完了となります。

※初期設定では 02 となっており、PITCH モード(24)/FADER 操作(27)設定時に PITCH BEND を操作すると、 $\pm 2\%$ の範囲で可変します。

CONTROLLER ONE Supplemental Instruction Sheet

Thank you for purchasing Vestax's Controller One. A change has been made in the following sections of the owner's manual. Please read this supplemental instruction sheet along with the owner's manual to operate the Controller One safely and to enjoy its features.

【Owners Manual Page10】

⑩ PITCH BEND

PITCH MODE

(Incorrect) The adjust range is selectable from +/-1%, +/-3% and +/-6% by pushing the PITCH BEND as a button.

↓

(Correct) The rpm adjust range is selectable between +/-1% to +/-10% with the Encoder.

【Postscript】

◆ PITCH BEND Adjust range setting

The adjust range can be selected from 10 levels between +/-1 to +/-10.

Select the adjust range as follows.

- ① Select pitch mode and push the encoder.
- ② The Key segment display will show "Pb=nor", push the encoder and it will show "Pr=02".
- ③ Turn the encoder clockwise and the numbers will increase between 1 to 10.
(...03→04→...→09→10)

The numbers will decrease by turning the encoder anticlockwise.

Push the encoder to set the selected level.

※ Default setting is 02. The adjust range is +/-2% when using the pitch bend in Pitch mode with fader control setting.